

質 疑 回 答 書 (1回目)

2021/7/14

各 位 様

工 事 有和中学校建設工事

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
1	前払金及び中間払金について	有田市建設工事等競争契約入札心得の記載事項についての質疑 項目-10 前払金及び中間前払金について ・ 中間前払金の請求は工期の2分の1以上を経過してからとありますが工事進捗出来高は関係なくあくまで工期と解釈してよろしいですか。 ・ 中間前払金の請求できる金額または限度額をご教示ください。	有田市公共工事に係る中間前金払取扱要領第3、6条をご参照ください。金額・限度額につきましては、同じく第5条をご参照ください。
2	部分払いについて	入札公告記載(12) 支払条件についての質疑 ・ 部分払いについて5回までとありますが、これは工期中で5回ということでしょうか。また、中間前払金を請求する場合の部分払いですが中間前払金の請求後に5回まで可能でしょうか。 ・ 部分払いを請求する際の算定方式についてご教示ください。	お見込みのとおりです。請求する際の算定方法につきましては、建設工事請負契約書(案)第38条及び第60条をご参照ください。
3	特定建設工事共同体協定書について	1. 該当資料：特定建設工事共同企業体協定書 第19条「この協定書に定めのない事項については、運営委員会において定めるものとする。」とありますが、運営委員会において定めた内容は別途、有田市役所経営管理部総務課管財係様宛に開示する必要がありますでしょうか。	必要があれば開示を求めます。
4	有田市建設工事等競争契約入札心得について	2. 該当資料：有田市建設工事等競争契約入札心得 12 その他の必要事項(1) ①「落札者は、入札執行者から交付された契約書の案に記名押印し、落札者となった旨の通知を受けた日から起算して5日以内に、これを入札執行者に提出しなければならない。」とありますが、本契約は公共工事標準請負契約約款に則した内容のものという解釈でよろしいでしょうか。	建設工事請負契約書(案)をご確認ご参照ください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
5	有田市建設工事等競争契約入札心得について	②①の約款について、公共工事約款にて一般に定める以外に貴市特約事項がある場合、契約内容について社内で事前に検討を行いたいため、落札者決定前に契約書（案）をデータ等で事前にいただくことは可能でしょうか。	別添建設工事請負契約書(案)を確認ください。
6	低入札価格調査について	3. 該当資料：有田市建設工事等競争契約入札心得 1 2 その他の必要事項（2） ①「市議会の議決を要する契約については、仮契約書の案を提出しなければならない。」とありますが、本案件は当該仮契約書を事前に締結する対象であるという理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
7	有田市建設工事等競争契約入札心得について	③この仮契約書案は、本契約と同様の内容（公共工事約款に準じたもの）であり、仮契約締結後、本契約締結時にその内容が継承されるという解釈でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
8	低入札価格調査について	低入調査にて 下積もり提出は業者原本提出でよろしいですかまた 原則設計書（明細）に基づくもので加筆・編集無き明細でよろしいですか	お見込みのとおりです。
9	低入札価格調査について	低入調査にて 下積もり金額に含まれる法定福利費用は 見積合計のうち ¥〇●と記載でよろしいですか	お見込みのとおりです。
	【建築工事】		
A-1	A-2-03-2	名称②木パネル：地場ヒノキ t 30 キシラデコール2回塗りと表記されていますが、設計書にキシラデコールの明細が見当たりませんが、キシラデコール塗装は無しと考えても宜しいでしょうか。	キシラデコール塗装を見込んでください。
A-2	設計書 No.12	地盤改良において、固化材の添加量はどの程度見込めば宜しいでしょうか。	ボーリング柱状図を確認のうえ指定の設計基準強度が確保できるように添加量を算定してください。
A-3	設計書 No.30	現場溶接 23.8mと記載されていますが、シアコネクタの溶接長と考えても宜しいでしょうか。また、シアコネクタの溶接でない場合、検査費は見込まなくても宜しいでしょうか。	現場溶接内訳は積算事務所確認。 検査については、完全溶け込み溶接箇所は超音波探傷検査としてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-4	A-9-04-2,3	設計書にEXP. Jの明細が見当たりません、EXP. Jは別途工事と考えても宜しいでしょうか。	本工事に含まれます。
A-5	設計書 No.41	止水板の仕様についてご指示願います。	非加流ブチルゴム系止水材とします。
A-6	設計書 No.41	床立上りアルミ製水切の仕様についてご指示願います。	アルウイトラD-30(ABC商会)同等品とします。
A-7	工事説明書 No.41	室外機置場 アルミ目隠しルーバー L=10615 H=4000 3ヶ所が見当たりません、どこに使われているのか、ご教示願います。	H=2400に読み換えてください。
A-8	設計書 No.50	物 1式 はどの様な物でしょうか。ご教示ねがいます。	エキスパンションジョイント金物との誤表記です。
A-9	A-8-02-1,2,3	引違い木製建具の金物にTYPE11、TYPE13が使われていますが、引違い木製建具にTYPE11、TYPE13は取り付けられないと思われます。建具リストの建具金物を変更しても宜しいでしょうか。	同等の機能で適合する金物を採用してください。 また、木製建具の枠形状 枠3→枠7 に読み換えてください。
A-10	設計書 No.163	入) 2か所 はどの様な物でしょうか。ご教示ねがいます。	上下可動式ホワイトボード(片面五線入)の誤表記です。
A-11	設計書 No.284	武道場手摺 アルミ製 H1600 平部 と表記されていますが、アルミ手摺の詳細図をご提示願います。	スチールに変更します。 後日追加図面を提出します。
A-12	設計書 No.317,319	ゲートのメーカー及び品番をご提示願います。	スタックラインSR1型(四国化成)同等品とします。 PRO-FIT
A-13	A-8-02-3	木製建具の材質が構造用合板となっていますが、施工時期に材料を確保出来ない可能性があります。構造用合板をシナ合板 t 4.0に変更できないでしょうか。	よろしいです。
A-14	A-8-02-1	標準金物リスト TYPE11の自閉装置がニュースター5型となっていますが、故障が多い金物なので、ダイケン スライデックス 傾斜タイプ(自閉式)に変更しても宜しいでしょうか。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-15	A-8-02-1	TYPE13のアルミPL t3加工アルマイトとはどのようなもの でしょうか、メーカー及び品番等をご指示願います。	LIXILにご確認下さい。 連絡先:
A-16	A-8-02-1、2	建具リストの建具金物覧に表記されているTYPE11、TYPE13 の後ろに引違い錠と書かれている所と書かれてない所が有り ます。建具リストの建具金物覧と標準金物リストのどちらを 採用すれば宜しいでしょうか。	標準金物リストを正とします。
A-17	—	建具の鍵にディンプルキーは無いものと考えても宜しいで しょうか。	よろしいです。
A-18	設計書 No.83	吸音化粧石膏ボードは、タイガースクエアトーン、ニュータ イガートーンのどちらで考えれば宜しいでしょうか。	タイガースクエアトーンとします。
A-19	設計書 No.159	壁 不燃有孔板t8は有孔ケイカル板でしょうか。	その通りです。
A-20	設計書 No.83	有孔OSB板 t 10のメーカー及び品番をご教示願います。	t9.0の一般普及品とします。
A-21	A-1-11-6	卓球場、武道場壁の天然木複合壁材は、不燃・準不燃の指定 は無いと考えても宜しいでしょうか。また、材料の参考メー カー等が有りましたら御教示ください。	防火材料の指定はありません。 ジムウォール(北海道パーケット)同等品とします。
A-22	A-2-03-1	㊦木 ^パ ^ル : 地場ヒノキは、和歌山では巾300mmを越える材料 の調達は大変難しいです。木 ^パ ^ル は巾300mmまでの組み合わ せと考えても宜しいでしょうか。	よろしいです。
	設計書 No.242	体育館防護柵の取付方法・固定方法・形状等を御指示願いま す。	後日追加図面を提示します。
	A-9-02-2	木材の幅及び長さが分かる図面が有ればご提示願います。	後日追加図面を提示します。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
	設計書 No.280	シャワーユニット額縁は樹脂・木製のどちらで考えたら宜しいでしょうか。	樹脂製とします。
	工事説明書 No.86	天井の木ルーバーは 幅450*厚み20が調達できないので、幅150*厚み20、3枚突き付けとしても宜しいでしょうか。	t15針葉樹合板+突板(紀州材)練り付けに変更します。
A -23	設計書 No.242	一面ポール時計 φ1800と表記されていますが、φ1800をφ750と読み替えても宜しいでしょうか。	電気工事とし、建築工事から削除します。
A -24	設計書 No.49	床立上り アルミ製水切りの形状が分かる図面をご提示願います。	質疑NO.A-6による。
A -25	設計書 No.49	テラス床立上り アルミ製水切りの形状が分かる図面をご提示願います。	質疑NO.A-6による。
A -26	設計書 No.49	室外機置場 アルミ目隠しルーバー小口フタ ほどの様な物でしょうか。詳細図をご提示願います。	小口塞ぎはは取止めとします。
A -27	設計書 No.50	掲示壁見切り アルミ製 ハット型について、製作金物である場合は、厚み・寸法等を、既製品の場合はメーカー・品番等をご指示願います。	アルミWTM-9(創建)同等品とします。
A -28	設計書 No.212	屋上落下防止手摺の取付場所、取付方法が分かる図面をご提示願います。	追加図面を提出します。
A -29	設計書 No.212	屋上スロープ 手摺の取付場所、取付方法が分かる図面をご提示願います。	追加図面を提出します。
A -30	設計書 No.212	屋上スロープ 手摺は手摺子は無しと考えても宜しいでしょうか。また、取付方法等が分かる図面をご提示願います。	追加図面を提出します。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -31	設計書 No.214	舞台手摺は手摺子は無しと考えても宜しいでしょうか。また、取付方法等が分かる図面をご提示願います。	後日追加図面を提示します。
A -32	設計書 No.214	舞台スロープ 手摺は手摺子は無しと考えても宜しいでしょうか。また、取付方法等が分かる図面をご提示願います。	後日追加図面を提示します。
A -33	設計書 No.214	ギャラリー手摺のメーカー名、品番等を御指示願います。	後日追加図面を提示します。
A -34	設計書 No.284	武道場手摺 アル製 H1600 平部のメーカー名、品番等を御指示願います。	後日追加図面を提示します。
A -35	設計書 No.284	武道場手摺 アル製 H1600 平部の取付場所、取付方法等が分かる図面をご提示願います。	後日追加図面を提示します。
A -36	設計書 No.323	グレーチング 蓋新設 W600 T-14のメーカー名及び品番をご指示願います。	数量 1.1m →12.0m に読み換えてください。 スチール製溶融亜鉛メッキ処理 ボルト止め 一般普及品とします。
A -37	設計書 No.323	グレーチング 蓋新設 W600 T-14の取付場所が分かる図面をご提示願います。	A-13-03-1 左下に記載の グレーチング蓋新設 (T-14) のL=1100 → L=11000 に読み換えてください。
A -38	—	山留め等仮設物は地中に残置できるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	原則撤去してください。 施工上やむを得ない場合に限り監督員と協議を行い決定することとします。
A -39		土壌汚染は無いものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -40	S-003 A-3-02-1	底盤下の地業について、PF板t30+捨コンt50+砕石t60の下に地盤改良と考えて宜しいでしょうか。また、大階段下及びブリッジ下部の接続躯体の床下は意匠図より砕石t150と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-41	S-003	地盤改良の配合量について、配合試験によるとありますが、見積もり上100kg/m ³ の配合と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	質疑NO.A-2による。
A-42	S-047	教室棟及びメディアセンター柱リストについて、フープ筋は溶接閉鎖ですが、仕口フープはカギ型と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	仕口フープも溶接閉鎖としてください。
A-43	A-2-04-2 S-011	ブリッジ下部躯体について、1階床(FS201)の天端はFL-200と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	FL-1570です。
A-44	S-a02	特記仕様書(2)4.20マスコンクリートについて、教室棟の基礎梁幅が多く80cmが用いられていますが、マスコンクリートの適用は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	マスコンクリートの適用は不要と考えてください。
A-45		A12通り横の室外機置場について、伏図にて柱型のような図示がありますが、礎柱詳細が不明です。御指示下さい。	S-082図を参照ください。
A-46	S-006	2階伏図について、X1-X2/Y8-Y9のスラブ符号が不明です。DS2と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	DS2と考えて宜しいです。
A-47	S-004	ピット内コンクリート充填について、無筋にてコンクリート打ちと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	無筋コンクリートと考えて宜しいです。
A-48	A-2-04-2 S-011	大階段下部躯体について、1階床(FS101)の天端はFL-200と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	FL-1570です。
A-49	A-1-02-1	特記1 25 施工見本について、検証が必要な部分に必要と記載がありますが、具体的な内容を御指示ください。	体育館壁面ルーバー
A-50	A-1-02-2	特記2 8.3 ALCの厚みについて、t150のみが適用となっておりますが、A-4-04-2図よりt100も適応と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。 t100の範囲はブリッジの外壁とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-51	A-1-02-2	特記2 8.3 ALCの取付金物に耐火被覆の記載がありますが、外壁ALCの取付金物(開口補強金物・足元金物含む)には耐火被覆(吹付ロックウール t25)を見込んで宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-52	—	外壁～スラブ/パラペット取り合いの層間塞ぎについては下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示ください。 <input type="checkbox"/> スラブ取り合い:W50×H150 <input type="checkbox"/> パラペット取り合い:W100×H150	よろしいです。
A-53	A-1-02-3	特記3 9.1 防水仕様にB-1が適用となっておりますが、屋上・テラスでB-1に該当する防水範囲が見受けられません。B-1は適用ないものと考えて宜しいでしょうか。 又、下記範囲のアスファルト防水仕様を御指示ください。 <input type="checkbox"/> 体育館棟5F屋上: 断熱アスファルト防水(保護コン有) <input type="checkbox"/> 体育館棟棟テラス・室外機置場: 軽歩行用保護材付 アスファルト防水(断熱材・保護コン無し) <input type="checkbox"/> やまのテラス、メディアセンター棟・教室棟テラス: アスファルト防水	<input type="checkbox"/> 体育館棟5F屋上:BI-1 <input type="checkbox"/> 体育館棟棟テラス・室外機置場:B-1(保護コン→軽歩行用保護材) <input type="checkbox"/> やまのテラス、メディアセンター棟・教室棟テラス:B-1(保護コン→デッキ材)
A-54	A-1-02-3	特記3 9.1 防水乾式保護板の仕様が不明です。御指示ください。	押出成形セメント板: I 類としてください。
A-55	—	下記項目のメーカー品番を御指示ください。 <input type="checkbox"/> 教室棟・メディアセンター棟テラス及びやまのテラス床: ウットデッキ(A-3-01-1. 3-01-2. 3-02-1) <input type="checkbox"/> 教室棟・メディアセンター棟階段床:デッキ材(A-4-02-1) <input type="checkbox"/> 緩降機(A-2-01-4~6) <input type="checkbox"/> 屋外用消火器ボックス(A-9-01-3) <input type="checkbox"/> 階段ゴムチップタイル(A-4-03-1. 2)	<input type="checkbox"/> 教室棟・メディアセンター棟テラス及びやまのテラス床: 145×30遮熱仕様 エコロック(エアウォーターエコロック)同等品 <input type="checkbox"/> 教室棟・メディアセンター棟階段床:デッキ材 145×20遮熱仕様 エコロック(エアウォーターエコロック)同等品 <input type="checkbox"/> 緩降機:オリロー D型SUS格納箱 <input type="checkbox"/> 屋外用消火器ボックス:UFB-3S-3028-HLN(ユニオン)同等品 <input type="checkbox"/> 階段ゴムチップタイル:ラブタイル(アサヒクリエイト)同等品
A-56	A-3-01-1 A-3-01-2 A-3-02-1	床ウットデッキの鋼製下地仕様が不明です。御指示ください。	鋼製根太 シングル工法(エアウォーターエコロック)同等品

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-57	A-1-02-3	特記3 9.3 シート防水の施工箇所に箱樋と記載がありますが、適用となっている絶縁シート・脱気装置は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-58	—	屋外の露出鉄部は特記なき限り溶融亜鉛メッキ処理が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	その通りです。 メッキの仕様はS-01、S-02の4.(3)(e)(f)、4.(4)を参照ください。
A-59	A-4-02-1	メディアセンター棟の階段詳細図に段床廻り詳細図がございますが、こちらは教室棟の屋外階段にも共通する詳細図と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-60	A-4-01-1 A-4-02-1 A-4-03-1.2	メディアセンター棟の階段詳細図に図示の手摺詳細は、各棟の屋外階段・デッキ廻り手摺に共通する詳細図と考えて宜しいでしょうか。 上記で正の場合、手摺鉄部の塗装仕様が下記の様に相違しません。シリコン樹脂塗装が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。 □矩計図:シリコン樹脂塗装 □階段詳細図:SOP	階段廻りは共通です。 テラス廻りは下記の仕様です。 スチール製 持出し型 H1500 手摺笠木:St FB-9×65 手摺支柱:St FB-12×100@960 手摺笠木(支柱付):St FB-9×50 取付金物:St φ10@960 外面ステンレスメッシュ張り 塗装はシリコン樹脂塗装とします。
A-61	A-4-01-1 A-4-02-1 A-4-03-1.2	確認となりますが、A-4-03-1のY8通り外壁側を除き、階段手摺は基本的に外壁に面する側にも外周部同様のステンレスメッシュ手摺を施工するものと考えて宜しいでしょうか。 壁付手摺のみ等となる場合は範囲及び手摺詳細を御指示ください。	外壁に面する部分はステンレスメッシュを無しとします。
A-62	A-4-02-1	階段の踏み板デッキ材の下地鋼製根太 t1.6と記載がありますが、部材のサイズや納まりが不明です。御指示ください。	角鋼 25×150×t1.6としてください。
A-63	A-4-02-1	階段の蹴上プレートにフッ素樹脂塗装と記載がありますが、その他露出鉄部面は、A-1-11-1の仕上表より全てシリコン樹脂塗装で宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-64	—	屋上防水の押えコンクリート内には溶接金網 φ6 100×100を見込んで宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。

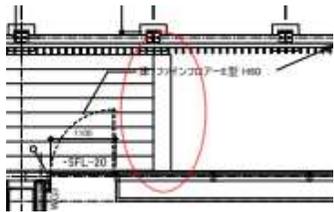
番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-65	A-1-11-1 A-1-02-5	仕上表において、外壁仕上に弾性吹付塗装と記載がありますが、特記では防水形複層塗材Eのみが適用となっております。弾性吹付塗装は全て防水形複層塗材Eの事と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-66	—	雨水排水について、各棟立面図一部に樋の図示が見受けられますが、全体的なドレン・樋の配置や経路が不明確です。配置・経路・仕様及びサイズ等の分かる雨水排水詳細図を御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-67	—	樋について、1FL以降の排水経路及び埋設管仕様が不明です。特記なき限り最寄り雨水枡・排水溝迄、樋同径の埋設管(VP管)を見込んで宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-68	—	屋上又はテラス迄の樋落ち口にはPC 既製品 300角程度の樋受け石を見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。
A-69	A-11-01-1	メディアセンターと教室棟間の屋外範囲に凡例【F-151-594】と記載がありますが、家具図では該当する家具が見受けられません。不要な凡例と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は家具詳細を御指示ください。	よろしいです。
A-70	A-9-04-3	やまのテラス EXP. Jの詳細番号にA1と記載がありますが、B1が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-71	A-9-04-1	外壁EXP. J金物について、詳細及び設置範囲の分かるキプラン・立面図を御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-72	—	外部軒天井と外壁の取り合いにEXP-J金物の図示が見受けられませんが、不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は仕様及び設置範囲を御指示ください。	よろしいです。
A-73	—	屋外打放補修面の増打はt20と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-74	A-6-01-1	凡例dの木毛セメント板に仕上塗装等の記載がありませんが、素地で宜しいでしょうか。仕上げ有の場合は仕様を御指示ください。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-75	A-2-01-4.6.7	各棟金属屋根の水勾配切り替え部の実線表記部分に屋根役物が必要と思われます。仕様及び納まりを御指示ください。	ありません。
A-76	A-2-01-4.6.7	各棟屋根軒先側金属屋根の下り棟仕様及び納まりが不明です。御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-77	A-9-03-1~3	屋根軒裏の高圧木毛セメント板に仕上げの記載がありませんが、素地で宜しいでしょうか。仕上げ有の場合は仕様を御指示ください。	よろしいです。
A-78	A-9-03-1~3	屋根軒樋部のオーバーフロー管について、設置位置はルフトレイン同位置と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-79	A-9-03-1~3	屋根軒樋部分にルフトレイン及びオーバーフロー管の記載がありますが、設置範囲が不明です。御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-80	A-2-01-4.6.7	屋根にハコットと記載がありますが、屋根金属板取り合い部の納まり詳細を御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-81	A-6-01-1	駐車場/ブリッジ/大階段下部の天井がスリット貼の木毛セメント板仕上となっておりますが、天井は一般仕様のLGS下地と考えて宜しいでしょうか。 特殊な仕様である場合や塗装等が必要な場合は詳細を御指示ください。	よろしいです。
A-82	A-6-01-1	駐車場/ブリッジ/大階段下部の天井がスリット貼の木毛セメント板仕上となっておりますが、天井内のデッキ裏面はデッキ表しで塗装仕上は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	シリコン樹脂塗装とします。
A-83	A-3-03-5	外壁ALCの梁貫通部には溶融亜鉛メッキ PL-6.0+シリコン樹脂塗装の塞ぎ板を見込んで宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-84	A-9-05-2	ALC壁面のAW上端にアルミ PL-3.0の記載がありますが、図中のAW以外にも同様のアルミPLが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-85	A-9-05-2	ALC壁面のAW上端にアルミ PL-3.0の記載がありますが、AW縦端部にも必要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	後日追加図面を提示します。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-86	A-5-08-2	平面詳細図の図示より外壁ALC版の出隅コーナー部は勝ち負け有りの突き付け納まりと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-87	A-3-03-3	体育館棟 X2通りの外壁ALC下端に見切金物等の図示が見受けられませんが、他の範囲も含め外壁ALC下端にはALC 既製品水切(ALC t150の場合はW200、ALC t100の場合はW150)を見込んで宜しいでしょうか。御指示ください。 メーカー品番等ございましたら併せて御指示ください。	よろしいです。
A-88	A-3-03-5	X1-2通り間の1F ALC外壁足元に立上りRCの様な図示がありますが、1F ALC外壁の足元には全てH300の立上りRC(打放補修+外壁同仕上仕上)を見込んで宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-89	A-5-07-2	駐車場床の一部にステンレス床見切の記載がありますが、他の施工範囲が不明確です。A-13-01-1 外構図の土間コンクリート取り合いを除くすべての舗装取り合いに必要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	廃瓦骨材利用保水性舗装と土間コンクリートとの取合部とします。
A-90	A-5-07-1	駐輪場に破線で駐輪区画の図示が見受けられますが、ライン引きは不要又は別途工事と考えて宜しいでしょうか。本工事の場合は仕様及び巾を御指示ください。	不要です。
A-91	A-3-03-3	駐車場の天井が珪石貼の木毛セメント板仕上となっておりますが、天井懐内の外壁ALC面は素地仕上と考えて宜しいでしょうか。仕上が必要な場合は仕様を御指示ください。	懐内も外壁と同仕様で塗装します。
A-92	A-5-07-1	駐車場の天井木毛セメント板と外壁の取り合いに廻り縁は不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は仕様及び納まりを御指示ください。	よろしいです。
A-93	A-9-03-3	屋根下地の木毛セメント板に塗装と記載がありますが、露出とならない範囲ですので不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は塗装の仕様を御指示ください。	よろしいです。
A-94	A-3-03-1 A-6-01-5	屋根軒裏鉄骨下地の仕上が下記の様に相違します。天井伏図が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。 □矩計図:耐火塗装 □天井伏図:溶融亜鉛メッキ+シリコン樹脂塗装	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-95	A-3-03-3	駐車場廻りの外壁仕上に浸透防水型複層塗材Eと記載がありますが、特記では防水形複層塗材Eのみが適応となっております。浸透防水型複層塗材Eは防水形複層塗材Eの事を示すと考えて宜しいでしょうか。 不可の場合、浸透防水型複層塗材Eの仕上範囲が不明確です。メーカー品番と併せて御指示ください。	よろしいです。
A-96	A-3-03-5	GL+20288部分の屋根について、外壁ALC頂部に笠木の図示がありますが、笠木は既製品ALC笠木と考えて宜しいでしょうか。 また、軒樋範囲を除く三面を同様の納まりと考えて宜しいでしょうか。併せて御指示ください。	よろしいです。
A-97	A-3-03-5	GL+20288部分の屋根について、屋根軒先部分の仕上げ納まりを御指示ください。	後日追加図面を提示します。 協力業者(一原産業)と協議していますのでお問い合わせください。
A-98	A-3-03-5	GL+20288部分の屋根について、軒樋の仕様及び堅樋の仕様・サイズ・本数、排水経路を御指示ください。	前述
A-99	A-3-03-5	GL+20288部分の屋根について、軒樋の仕様及び堅樋の仕様・サイズ・本数、排水経路を御指示ください。	前述
A-100	A-3-03-5	GL+20288部分の屋根について、周囲立上げの外壁ALCと取り合う金属屋根端部の仕上納まりが不明です。御指示ください。	前述
A-101	A-3-03-5	5F屋上 X1通り側のALC外壁足元について、立上りRC等の図示がなく、床防水立上げ部の納まりが不明です。御指示ください。	H300で立上りは設けます。
A-102	A-3-03-2	5F屋上の武道場外壁足元に立上りRCの図示がありますが、Y6通りの外壁ALC足元部分については屋上防水の立上げ高さを5FL迄と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-103	A-3-03-2	5F屋上 パラペット部に乾式保護板の図示がありますが、武道場外壁足元には保護板の図示が見受けられません。パラペット笠木範囲のみに乾式保護板が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	立上り部は露出防水とします。

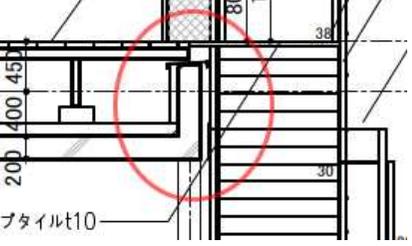
番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-104	A-5-11-3	5F屋上 避雷針基礎の詳細図が不明です。H200 押えコンクリート立上げのRC基礎と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	追加図面を提出します。
A-105	A-3-03-2 A-5-11-3	5F屋上のメッシュフェンスについて、平面詳細図ではH1000 RC基礎有り記載がありますが、矩計図では基礎の図示がなくフェンスもH1100と記載されており相違します。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-106	A-5-11-3	5F屋上のメッシュフェンス基礎は押えコンクリート立上げのRC基礎と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-107	A-5-11-3	5F屋上のメッシュフェンスに一部扉の図示がありますが、仕様はフェンス同仕様と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-108	A-3-03-2 A-5-11-3	5F屋上のアルミルーバー足元の納まりについて、矩計図では屋上押えコンクリート面にベースプレート直付けとする図示となっておりますが、平面詳細図ではRC基礎がある様な図示となっております。平面詳細図より押えコンクリート立上げのRC基礎 W450×D450×H200を見込んで宜しいでしょうか。御指示ください。	RC基礎の立上り高さはS-103参照ください。
A-109	A-3-03-2 A-5-11-3	5F屋上アルミルーバーの下地鉄骨について、各部の部材が不明です。御指示ください。	S-103図の通りです。
A-110	A-3-03-2 A-5-11-3	5F屋上のキュービクル基礎について、矩計図では押えコンクリート立上げの基礎の様な図示となっております、平面詳細図ではアゴ付の記載の様な図示となっております。平面詳細図よりRCアゴ付の基礎とし、詳細は下記の様と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。 □RCアゴ 150×150 躯体立上げ基礎 □天端・鼻先：塗膜防水仕上 ウルタン系 X-2 □基礎廻りは乾式保護板無し □立上り：床面よりH500迄 屋上アスファルト防水立上げ 以降は塗膜防水仕上 ウルタン系 X-2	追加図面を提出します。
A-111	A-5-11-3	上記に関連し、発電機基礎についても150×150 RCアゴ塗膜防水仕上の躯体立上げ基礎と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	追加図面を提出します。

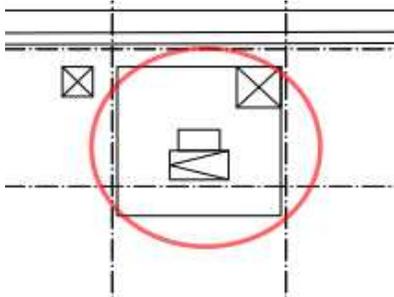
番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-112	A-5-11-3 A-3-03-2	5F屋上のファイフロアの施工範囲について、X3-8通りの武道場前の床は矩計図(A-3-03-2)ではファイフロアの記載がありますが、平面詳細図では図示が見受けられません。平面詳細図にて床材の図示がある範囲のみが施工範囲と考えて宜しいでしょうか。不可の場合は施工範囲を御指示ください。	よろしいです。
A-113	A-3-03-2	5F屋上のファイフロアについて、床下地の鋼材は全て溶融亜鉛メッキ素地仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-114	A-3-03-2	5F屋上のファイフロアについて、床下地鋼材下に立上りRCの図示が見受けられますが、設置位置・サイズが不明確です。	追加図面を提出します。
A-115	A-3-03-5	5F屋上のファイフロアについて、床下地鋼材下に束材の図示がありますが、仕様が不明です。御指示ください。	H-100×100×6×8 溶融亜鉛メッキ処理
A-116	A-3-03-2	5F屋上のファイフロアについて、床下地鋼材下に立上りRCの図示が見受けられますが、設置位置・サイズ・仕上げが不明確です。御指示ください。	前述
A-117	A-3-03-2 A-5-11-3	5F屋上 キュービクル置場に平面詳細図ではファイフロアの記載がありますが、矩計図では図示がなく相違します。平面詳細図より5FL-20の位置にファイフロアを見込んで宜しいでしょうか。御指示ください。	ファイフロアを見込んでください。 設置高さはキュービクル基礎上に設置です。
A-118	A-5-11-3	5F屋上 武道場前のファイフロア端部に図示のある下図が何を示す図示か不明です。図示の仕様を御指示ください。 	ファイフロアと押えコンとの段差解消のステップです。 押えコンを立上げとします。
A-119	A-5-11-3	5F屋上 X2Y8-9通り部分に5FL-250～5FL+450迄の段床がございますが、段床部分の仕上げ及び納まり詳細が不明です。御指示ください。	押えコンを階段状に立ち上げます。

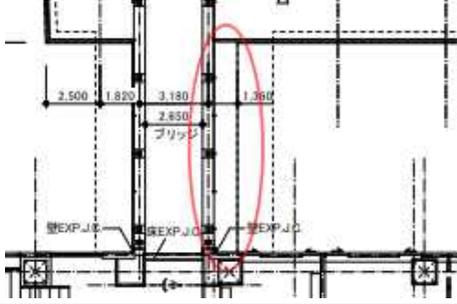
番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-120	A-5-11-3	5F屋上にL8400のスロープが記載されておりますが、下記不明点を御指示ください。 1. スロープ床の仕様が不明です。御指示ください。 2. 手摺の様な図示がありますが、仕様H寸法を御指示ください。	スロープ床:ファインフローE型 H60 手摺:屋外階段手摺と同仕様
A-121	A-5-11-3	5F屋上 ルフトレインのサイズが不明です。御指示ください。	Φ150とします。
A-122	A-5-11-3	5F屋上 X2/Y6-7通りのパラペット廻りに落下防止手摺と記載がありますが、仕様が不明です。御指示ください。	屋外階段と同仕様です。
A-123	A-5-11-3	5F屋上 スロープ部に手摺 H800と記載がありますが、仕様が不明です。御指示ください。	質疑NO.A-120による。
A-124	A-3-03-5	5F屋上 スロープ部に手摺 H800と記載がありますが、仕様が不明です。御指示ください。	同上
A-125	A-3-03-5 A-5-10-1	平面詳細図では4Fにテラスがございますが、矩計図ではテラスがなく相違します。平面詳細図が正と考えて宜しいでしょうか。また、テラスの仕上げは3Fテラスに同じと考えて宜しいでしょうか。併せて御指示ください。	よろしいです。
A-126	A-3-03-5 A-5-10-2	矩計図において、3Fテラスの床に軽歩行用保護材アスファルト防水と記載がありますが、外壁ALC側の立上り部や手摺足元廻りの仕上納まりが不明です。御指示ください。	コンクリート+アスファルト防水H300立上げ、ALC板取合アルミ製水切り
A-127	A-5-08-5 A-5-09-2	2. 4Fテラス床の防水仕様や仕上・立上り部の納まりが不明です。3Fテラスに同じと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-128	A-5-08-5 A-5-09-2 A-5-10-1	2~4Fテラスの天井が直天となっておりますが、天井仕上が天井伏図に記載されておられません。天井凡例jと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	天井伏図凡例hとします。
A-129	—	2~4Fテラス廻りの手摺は全てスラブ小口面付手摺と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-130	—	2～4Fテラス及び2F屋外室外機置場にドレイン・排水溝等が見受けられませんが、不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は設置範囲及び各々の仕様・サイズ・排水経路を御指示ください。	必要です。
A-131	A-2-01-3	2F屋外室外機置場について、当該範囲の矩計図がA-3-03-2の屋外室外機置場(2)のみですが、屋外室外機置場(1)に関するも同納まりと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-132	A-6-01-2 A-3-03-2	2F屋外室外機置場 天井の梁型について、天井伏図では凡例hと記載があり、梁部は耐火塗装となっておりますが、矩計図ではロックール吹付となっております。矩計図を正とし、天井伏せ図の凡例は凡例iに読み替えと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-133	A-5-8-5	2F屋外室外機置場について、外壁ALC側の立上り部やルバー側足元廻りの仕上納まりが不明です。御指示ください。	質疑NO.A-126による。
A-134	A-5-08-5・6	2F屋外室外機置場について、床面が軽歩行用保護材アスファルト防水となっておりますが、設備基礎部分の仕上及び納まりが不明です。御指示ください。	ウレタン塗膜防水とします。
A-135	A-5-08-5	2F屋外室外機置場について、寸法の記載がない基礎がありますが、サイズは6600×1200×H150と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-136	A-2-01-3 A-5-08-5	2F 北側屋外室外機置場について、設備基礎の設置地やサイズが平面詳細図と平面図で相違します。平面詳細図が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-137	A-3-03-2	2F 北側屋外室外機置場アルルバーの下地鉄骨について、各部の部材が不明です。御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-138	A-5-08-5	2F 北側屋外室外機置場について、ルバー足元に基礎の様な図示がある部分とない部分があり柱脚廻りの納まりが不明です。床防水取合いの仕上げ納まりも含め、柱脚廻りの詳細図を御指示ください。	後日追加図面を提示します。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-139	A-3-03-2	2F 北側屋外室外機置場について、内側の外壁面仕上はALC t150+弾性吹付塗装仕上(X2・X8通りの外壁裏面及びルーバー上 ALC垂れ壁裏面も弾性吹付塗装仕上)と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-140	A-3-03-2 A-2-03-5	2F 北側屋外室外機置場について、外壁側アルミルーバーのH寸法が矩計図と立面図で相違します。矩計図よりH4350が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-141	A-2-01-3	2F屋外室外機置場(1)について、柱型の図示がありますが、柱脚と床防水取り合いの納まり詳細不明です。御指示ください。	質疑NO.126による。
A-142	A-2-03-6	2F屋外室外機置場(1)に立面図で凡例⑱のアルミルーバーが図示されておりますが、ルーバー下地等の仕様・納まりは2F屋外室外機置場(2)のアルミルーバーに同じと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-143	A-2-03-6	2F屋外室外機置場(1)に立面図で凡例⑱のアルミルーバーが図示されておりますが、H寸法は立面図よりH5500と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-144	A-4-03-1.2	踏面のモルタル内には溶接金網 φ2.6 50×50を見込んで宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-145	A-4-3-1.2	A-4-01-1の階段詳細図において、階段段裏・蹴上PLの仕上について、ZPと記載のある範囲とない範囲がございますが、階段の下記部位は全てZP(リン酸処理仕上)と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。 □段裏(踏面/踊場はゴムチップタイル) □蹴上(裏表共)	鉄骨露出部は全て溶融亜鉛メッキ処理+シリコン樹脂塗装とします。
A-146	A-4-3-1.2	階段ササゲ及び階段支持鉄骨は全てシリコン樹脂塗装仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	同上
A-147	A-4-3-1.2	階段の段鼻にはステンレススリップ 金物を見込んで宜しいでしょうか。御指示ください。	不要です。 蹴込板を3mm程度チリ出ししてノンスリップとします。
A-148	A-6-01-2	屋外階段2の2F建具扉前ポーチの天井仕上が指示されておられません。凡例iと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。

番号	図面番号	質疑事項	回答
A-149	A-5-08-1	<p>屋外階段2の2Fデッキスラブ部分についてスラブ小口面の仕上及び出入り口扉廻りの外壁ALC足元の仕上げ納まりが不明です。御指示ください。</p> 	<p>ALC足元は質疑NO.126による。 スラブ小口面はPL-3.2立上げ+シリコン樹脂塗装とします。</p>
A-150	A-6-01-2	<p>X1-2/Y4-5部分の天井仕上が指示されておりません。凡例iと考えると宜しいでしょうか。御指示ください。</p>	<p>2階から上部への階段と3階テラスを取止めとします。</p>
A-151	A-5-11-2	<p>5FY6/X2-3通りのセットバックした外壁範囲について、軒天井の有無が不明です。軒天井はないものとし、上部屋根裏まで図示の形状でALCを建込むものと考えて宜しいでしょうか。不可の場合は軒天井仕様やCH等 外壁部分の納まりを御指示ください。</p>	<p>CH=3000 軒天:LGS下地+木毛セメント板t20とします。</p>
A-152	A-2-03-6 A-5-11-1	<p>南面5FX2-3通りに凡例⑳(SUSベントキャップ)及び凡例⑱(目隠しフェンス)と記載がありますが、平面詳細図ではALC外壁となっております。平面詳細図よりALC外壁が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。</p>	<p>⑳は誤りです。 ⑱は目隠しフェンスルーバーとなり、別仕様となります。 後日追加図面を提出します。</p>
A-153	A-4-03-1.2	<p>下図 5F屋上パラペット外壁側の仕上が不明です。複層吹付塗装仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。</p> 	<p>よろしいです。</p>

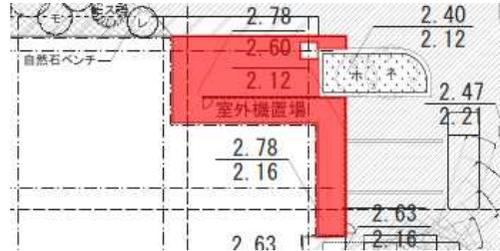
番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-154	A-5-05-2	<p>室外機置場部分の床及び室外機基礎の仕上げが不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示ください。</p> <p><input type="checkbox"/>床:コンクリート金鍍仕上</p> <p><input type="checkbox"/>基礎天端:コンクリート金鍍仕上</p> <p><input type="checkbox"/>基礎立上り:打放補修素地仕上</p>	よろしいです。
A-155	A-2-01-4	<p>屋根に引きファン置場がありますが、ファン置場廻りの屋根仕上納まり及び設備基礎の詳細が不明です。御指示ください。</p> 	後日追加図面を提示します。
A-156	A-2-01-4	A9/B1通りの軒先側屋根部分が谷納めとなりますが、役物仕様を御指示ください。	ありません。
A-157	A-3-03-3	メテアセンター金属屋根からの樋について、1階北面・東面廻りに排水溝・排水枿がございません。樋埋設配管の排水経路を御指示ください。	排水溝・枿の設置はありません。A-13-2-1参照ください。
A-158	A-3-02-2	ブリッジの外壁について、下地・仕上げ及び屋根・軒天井取り合い部の仕上げ納まりを御指示ください。	外壁:t100ALC板+弾性吹付塗材 軒天納まりは体育館棟と同仕様です。
A-159	A-2-03-2	ブリッジ屋根について、教室棟側及びメテアセンター側の外壁取り合い部分について、屋根端部の仕上納まりが不明です。御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-160	A-2-03-1 A-3-03-4	ブリッジ屋根の軒先納まりについて、A-3-03-4の図示ではA-9-03-1~3の屋根の様な納まりとなっておりますが、A-2-03-1では凡例㊸の塩ビ軒樋の記載があり、納まりや仕様が相違するよう見受けられます。屋根軒先納まりはA-9-03-2の屋根詳細に同じと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-161	A-2-03-1 A-3-01-3	ブリッジ屋根の仕様について、立面図では凡例① カラーガルバリウム鋼板 t0.4となっておりますが、矩計図ではかん合平葺の金属屋根となっております。矩計図の仕様が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	両方の仕様となります。
A-162	A-2-03-1 A-3-01-3	ブリッジ屋根からの樋が立面図に図示されておりません。樋のサイズ・仕様及び排水経路を御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-163	A-2-01-3	ブリッジ A2通りの下記赤囲い部分について、床面の仕上が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示ください。 <input type="checkbox"/> 床面:ウレタン系 X-2 塗膜防水仕上 <input type="checkbox"/> 外壁側:塗膜防水立上 H100 <input type="checkbox"/> 床小口:塗膜防水仕上 <input type="checkbox"/> スラブ底:デッキ表し <input type="checkbox"/> 露出鉄鋼面:シリコン樹脂塗装 	<input type="checkbox"/> 床面:ウレタン系 X-2 塗膜防水仕上 <input type="checkbox"/> 外壁側:塗膜防水立上 H100 <input type="checkbox"/> 床小口:塗膜防水仕上 :シリコン樹脂塗装 <input type="checkbox"/> スラブ底:デッキ表し:シリコン樹脂塗装 <input type="checkbox"/> 露出鉄鋼面:シリコン樹脂塗装
A-164	A-3-02-1	2Fテラスについて、テラス鼻先の立上り小口面仕上げが不明です。御指示ください。	打放補修+シリコン樹脂塗装とします。
A-165	A-3-02-1	2Fテラスについて、外壁足元側はテラスFL迄防水立上げと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-166	A-3-02-1	2Fテラスについて、床アスファルト防水について、手摺側端部は手摺下の立上りコンクリート天端面迄施工と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-167	A-3-02-1	2Fテラスについて、ドレイン及びアル堅樋の図示がありますが、ドレイン・堅樋の設置位置が不明です。御指示ください。	後日追加図面を提示します。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-168	A-3-02-1	2Fテラスについて、排水溝の記載が見受けられませんが不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は溝サイズ・仕上・設置範囲を御指示ください。	不要です。
A-169	A-5-05-2	1F室外機置場廻りの床仕上が不明です。コンクリート金鋳仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	前述
A-170	A-5-05-2	1F室外機置場廻りルバーの下地鉄骨について、各部の部材が不明です。御指示ください。	S-082図による。
A-171	A-5-05-2	1F室外機置場廻りのルバー下地鉄骨について、柱脚廻りの納まりが不明です。RC基礎の有無等を御指示下さい。	RC基礎400×400×H200、配筋はS-081図と同仕様とします。
A-172	S-096	大階段木ルバー受け材について、A-9-02-6図に一部溶融亜鉛メッキ+リン酸処理と記載がありますが、図中の受け材は全て溶融亜鉛メッキ+リン酸処理仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	溶融亜鉛メッキ+シリコン樹脂塗装とします。
A-173	S-096 A-9-02-6	大階段木ルバー受け材について、構造図に図示のある部座が意匠図に図示のどの部材に適応となるかが不明確です。意匠図に指示のある部材の内、構造図に図示の部材に該当するものを御指示ください。	構造図を正として下さい。
A-174	A-9-02-6	パネル支持方法Aの下地金物に部材サイズ等の記載が見受けられません。御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-175	A-9-02-6	パネル支持方法Cの下地金物に部材サイズ等の記載されていないものがございます。部材サイズ等を御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-176	A-9-02-6	パネル支持方法Bとパネル支持方法Cの詳細図間に図示されている丸パイプ φ48.6×3.2の適応か所が不明です。御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-177	A-9-02-6	パネル支持方法Cの詳細図でALC t150と記載がありますが、A-4-04-2図ではt100となっており相違します。T100を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	後日追加図面を提示します。

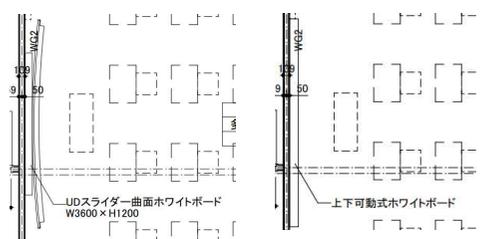
番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-178	A-9-02-6 A-6-01-1.2	大階段廻りの鉄骨耐火被覆仕様について、A-9-02-6では吹付ロックールとなっておりますが、天井伏図では耐火塗装となっております。耐火塗装が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-179	A-4-04-2	やまのテラス屋根のアスファルト防水について、体育館棟側の防水立上げ高さはテラス床FL迄と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-180	A-4-04-2 A-9-04-3	やまのテラス屋根の教室棟側及び北・南側床端部に立上りRCの図示がございますが、床アスファルト防水は立上りRC天端面迄と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-181	A-9-04-3 A-3-01-1	やまのテラスのウッドデッキについて、束材のH寸法がEXP. J詳細図と矩計図で相違します。EXP. J詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-182	A-9-04-3 A-3-01-1	やまのテラスのウッドデッキについて、教室棟側の床端部について、納まりがEXP. J詳細図と矩計図で相違します。矩計図よりH230を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	EXP. Jを正としてください。
A-183	A-4-04-2	やまのテラスのY5通り側にアルミ庇がございますが、納まりや設置範囲・仕様が不明です。庇部の詳細図を御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-184	A-2-01-4	やまのテラスにドレイン・排水溝等が見受けられませんが、不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は設置範囲及び各々の仕様・サイズ・排水経路を御指示ください。	必要です。
A-185	A-4-04-2	やまのテラス手摺足元のスラブ小口仕上が不明です。御指示ください。	コンクリート打放補修+シリコン樹脂塗装とします。
A-186	A-2-03-1	図示はありませんが、やまのテラス範囲の外壁ALC足元にはH300弾性吹付塗装の立上りRCを見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-187	A-9-02-6	木パネルについて、メーカー品番又は仕様・塗装仕上の有無等を御指示ください。	紀州材t30 キシラデコール2回塗りです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-188	A-4-04-2 A-6-01-1	大階段裏の軒天井仕上について、天井伏せ図では凡例hと記載があり、鉄骨梁は耐火塗装となっておりますが、大階段立面図の図示では吹付耐火被覆の図示となっております。天井伏せ図が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-189	A-3-01-2	2～4Fテラスについて、テラス鼻先の立上り小口面仕上げが不明です。御指示ください。	前述
A-190	A-3-01-2	2～4Fテラスについて、外壁足元側はテラスFL迄防水立上げと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	前述
A-191	A-3-01-2	2～4Fテラスについて、床アスファルト防水について、手摺側端部は手摺下の立上りコンクリート天端面迄施工と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	前述
A-192	A-3-01-2	2～4Fテラスについて、ドレイン及びアルミ堅樋の図示がありますが、ドレイン・堅樋の設置位置が不明です。御指示ください。	後日追加図面を提示します。
A-193	A-3-01-2	2～4Fテラスについて、排水溝の記載が見受けられませんが不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は溝サイズ・仕上・設置範囲を御指示ください。	前述
A-194	A-2-01-5	4FテラスC1/D3通りの階段廻りに落下防止手摺が必要と思われる。手摺の仕様・詳細を御指示下さい。	C1通りから西側のD1-3200～D4通りの屋外階段とテラスを取止めます。 D4通りに手摺を設置してください。(テラスの手摺と同仕様)
A-195	A-2-01-2～5 S-081	1～4F室外機置場の目隠しルバー用下地鉄骨について、柱脚部分の仕上納まり(床防水取り合いやRC基礎仕上等)が不明です。御指示下さい。	RC基礎はS-081を参照してください。 仕上はウレタン塗膜防水とします。
A-196	A-2-01-3～5	2～4F室外機置場について、外壁RC側や柱廻りの防水立上り部やスラブ小口廻りの仕上納まりが不明です。御指示ください。	前述
A-197	A-2-01-3～5	2～4F室外機置場について、床面が軽歩行用保護材アスファルト防水となっておりますが、設備基礎部分の仕上及び納まりが不明です。御指示ください。	設備基礎部分はウレタン塗膜防水とします。
A-198	A-2-01-3～5	2～4F室外機置場について、床面が軽歩行用保護材アスファルト防水となっておりますが、テラス床仕上はアスファルト防水+ウツデッキとなっております。異種仕上間の取り合い部について、納まり詳細を御指示下さい。	アルミルーバー部分を境に仕上を変更するのみで、取り合い部でデッキ材及び鋼製下地の小口が見えていてよいです。

番号	図面番号	質疑事項	回答
A-199	-	2~4F室外機置場にドレイン・排水溝等が見受けられませんが、不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は設置範囲及び各々の仕様・サイズ・排水経路を御指示ください。	必要です。
A-200	A-13-01-1	1F下図範囲の床仕上げが不明です。コンクリート金鍍仕上げと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 	よろしいです。
A-201	A-3-01-2	1F配膳室前ポーチの天井仕上が不明です。LGS25型(耐風圧仕様)+ケイカル板 t6.0+EP-G仕上 塩ビ廻り縁仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	t20木毛セメント板とします。
A-202	A-5-01-1	C1/D1通り側の鉄骨柱に仕上の記載が見受けられませんが、シリコン樹脂塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	GB-R t12.5+GB-H t9.5+EP-Gとします。
A-203	A-2-03-1 A-5-02-4	2~4F室外機置場の東面ルーバー前に平面詳細図では手摺の記載がございますが、立面図では図示がなく相違します。平面詳細図より手摺有が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	手摺無しです。 目隠しルーバー部分で折り返してください。
A-204	-	教室棟、メディアセンター棟のRC壁・RC柱廻りは内壁外壁共に特記なき限りGL工法(平面詳細図壁凡例WG3)と考えて宜しいでしょうか。 不可の場合は、LGS添壁を用いる箇所が明確にわかる資料を再度御指示下さい。	よろしいです。
A-205	-	GW充填が必要な間仕切及び防火区画間仕切を除く一般間仕切は 矩計図の図示より LGS軸…スラブ～スラブ ポード…各室天井迄 の施工と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -211	A-1-12-1～	カーテンボックス・カーテンレールの施工範囲について、付属従物表と平面詳細図と天井伏図で記載が食い違う箇所が多数ありますが、何れかに記載・図示がある場合は見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。不可の場合は相違箇所精査したものを再度御指示下さい。	よろしいです。
A -212	A-1-12-1～	カーテンボックスは付属従物表よりスプールのt=25 150×150と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -213	A-1-12-1～	カーテンボックス内のレールはアルミ製 シングルレールと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -214	-	各家具の寸法・員数が付属従物表と平面詳細図と家具図等で記載が食い違う箇所が多数ありますが、全て家具図(キープランの員数+詳細図の仕様)を正と考えて宜しいでしょうか。不可の場合は、家具キープランにて相違箇所精査したものを再度御指示下さい。	よろしいです。
A -215	A-5-01-1～ A-14-01-1～	室名表示等、サインの員数について、展開図に記載があるものもありますが、全てサインキープラン及びサイン詳細図による員数を正と考えて宜しいでしょうか。不可の場合はサインキープランにて相違箇所精査したものを再度御指示下さい。	よろしいです。
A -216	A-1-12-1～ A-2-01-1～ A-5-01-1～	消火器ボックスの員数について、付属従物表・平面図・平面詳細図でそれぞれくい違えます。全て平面詳細図の図示を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	平面図を正とします。
A -217	A-9-01-3.4	内部部分詳細図について、(1)-<16>や(1)-<18>の記載より他物件のものを示しているものと思われます。本物件においては、他図に記載がある項目の仕様を適用する位置付けと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -218	A-1-02-3	特記仕様書 防水工事 その他防水処理でコンクリートスラブと立上りの打ち継ぎ部には幅500mm程度の塗膜防水を行うとありますが、該当箇所無いものと思われますので適用無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は具体的な該当箇所を御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-219	A-1-02-4	特記仕様書 金属工事で耐震補強のついての記載がありますが、具体的な施工箇所を御指示下さい。	後日追加図面を提示します。
A-220	A-1-12-4 A-7-03-3	付属従物表 3階学年スペースに掲示板(3600×1200)の記載がありますが、展開図には柵ボードシートのみ記載です。柵ボードシートのみ必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-221	A-6-01-2	柵仕・大階段天井部の木毛セメント板ルーバーについて、木ルーバーと同様に天井内にEP塗装が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-222	A-6-01-1	天井伏図に照明ボックス:木製~SOPと記載がありますが、詳細が不明です。スプルス W150×H150 t=20 天井埋込型と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-223	A-1-11-2 A-2-04-1.3 A-6-01-1 A-7-01-3	1階特別支援教室・プレイルーム・通級指導教室について、天井高さが下記のようにくい違います。CH=3000を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表、断面図、天井伏図、展開図:CH=3000 ・平面詳細図:CH=2700	よろしいです。
A-224	A-1-12-1 A-5-01-2	1階特別支援教室(知的)について、付属従物表に柵ボード W=1800と記載がありますが、平面詳細図にはW=3600程度の図示でくい違います。付属従物表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-225	A-1-11-2	1階通級指導教室について、仕上表の巾木に木製+WUC H=10と記載がありますが、他の部屋と同様にH=60と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-226	A-1-11-4 A-3-01-3 A-6-01-3	1階理科室(1)について、天井仕上が下記のようにくい違います。理科室(2)に倣い吸音GB-Dを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表:吸音GB-D ・断面図、天井伏図:GB-D	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-227	A-1-11-3.4.5 A-3-01-3	2～4階普通教室について、床が下記のように違いいます。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表：直貼りフローリング t=15 ・矩計図(3)：OA7ローア+タイルカーペット t=6.5	よろしいです。
A-228	A-1-11-3.4.5 A-3-01-3 A-6-01-2.3.4	2～4階普通教室について、天井GWが仕上表・矩計図には記載がありますが、天井伏図には記載が無く、違いいます。天井伏図を正とし、有孔OSB板のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GWを見込んでください。
A-229	A-1-11-3 A-2-04-2 A-5-02-4 A-6-01-2	2階多目的教室について、天井高さが下記のように違いいます。3.4階と同様にCH=2900と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表、平面詳細図、天井伏図：CH=2900 ・断面図：CH=2700	よろしいです。
A-230	A-1-11-3.4.5 A-6-01-2.3.4	2～4階多目的教室について、天井GWが仕上表には記載がありますが、天井伏図には記載が無く、違いいます。天井伏図を正とし、有孔OSB板のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GWを見込んでください。
A-231	A-1-12-2.4.5 A-5-02-4 A-5-03-2 A-5-04-2	2～4階多目的教室について、ホワイトボードの図示が2階と3.4階で異なりますが、付属従物表よりすべてUDスライダー曲面ホワイトボード W3600×H1200と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 	よろしいです。
A-232	A-4-01-2～4 A-5-01-1～	階段3.4について、段数が階段詳細図と平面詳細図で違いいます。どちらも階段詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -233	A-1-11-6 A-3-01-1 A-6-01-1~4	階段3について、仕上表に巾木の記載が無く、また天井は段裏表しと記載がありますが、矩計図や天井伏図より隣の部屋(1階廊下・2~4階学年ホ-ス)と同仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -234	A-4-01-3	階段3について、ササ等の鉄骨見掛り部は蹴上・裏面に倣いフ素樹脂塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	内部鉄骨見掛り部は全てSOPとします。
A -235	A-4-01-3	階段3について、1階下り天井の納まり詳細が不明です。LGS19型+GB-R t=12.5+GB-R-H t=9.5+EP-G+端部塩ビ見切縁と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	端部アルミ見切り、その他はよろしいです。
A -236	A-4-01-2 A-5-01-1~	階段3について、C4通り側の手摺が平面詳細図には図示がありますが、階段詳細図には無く、くい違います。階段詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	平面詳細図を正とします。
A -237	A-2-01-2~5 A-4-01-2 A-4-03-3 A-5-01-1~	階段3について、平面図・平面詳細図に点字タイルの図示がありますが、階段詳細図に図示が無く、くい違います。平面図・平面詳細図を正とし、仕様は体育館棟に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	平面・平面詳細図を正としてください。 仕様は別紙詳細図参照ください。
A -238	A-1-11-6 A-4-01-4	階段4について、仕上表の巾木にワト巾木 H=60と記載がありますが、階段詳細図にはスチ-ル巾木の記載もあり、使い分けが不明です。1階床のみワト巾木とし、他がスチ-ル巾木と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -239	A-4-01-4	階段4について、階段詳細図に桁 AEPと記載がありますが、段裏や巾木等の鉄骨見掛り部もAEPと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	鉄骨見掛り部は全てSOPとします。
A -240	A-1-11-6 A-2-04-2 A-5-01-4~	階段4について、1~3階の天井高さが仕上表・断面図・平面詳細図でくい違います。断面図を正とし、使い分けが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -241	A-4-01-4	階段4について、1~3階下り天井の納まり詳細が不明です。LGS19型+GB-R t=12.5+GB-R-H t=9.5+EP-G+端部塩ビ見切縁と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	端部アルミ見切り、その他はよろしいです。

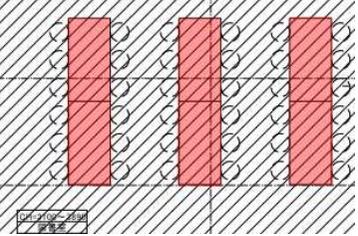
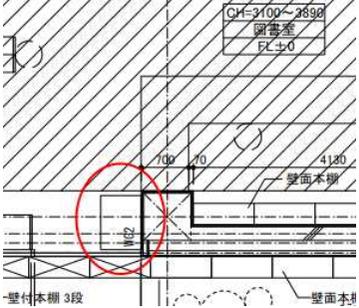
番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -242	A-2-04-2 A-5-02-4	階段4について、4階天井が断面図では直天ですが、平面詳細図にCH=2700の記載があり不明です。平面詳細図を正とし、仕上は化粧石膏ボード、t=9.5と考えると宜しいでしょうか。直天の場合は、仕上を御指示下さい。	直天とし、コンクリート打放補修+EPGとします。
A -243	A-4-01-2 A-5-01-4～	階段4について、手摺の施工範囲が平面詳細図と階段詳細図で違いがあります。階段詳細図を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	平面詳細図を正とします。
A -244	A-2-01-2～5 A-4-01-2 A-4-03-3 A-5-01-1～	階段4について、平面図・平面詳細図に点字タイルの図示がありますが、階段詳細図に図示が無く、違いがあります。平面図・平面詳細図を正とし、仕様は体育館棟に倣うと考えると宜しいでしょうか。 宜しい場合、平面図と平面詳細図で員数が違いがあります。平面図を正と考えると宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	前述
A -245	A-5-01-4 A-7-01-1	1階C6/D5通りの通用口について、展開図に実線の下足棚の図示がありますが、平面詳細図には破線の図示で違いがあります。別途工事と考えると宜しいでしょうか。本工事の場合は仕様を併せて御指示下さい。	別途工事とします。
A -246	A-2-01-2 A-5-01-3	1階来客用昇降口について、平面図には点字鋸のような図示がありますが、平面詳細図には図示が無く、違いがあります。平面図を正と考えると宜しいでしょうか。可の場合、注意喚起用が14ヶ所、誘導用が30ヶ所と考えると宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしいです。
A -247	A-1-11-2 A-2-04-3 A-6-01-1	1階C3-4/D2-3通り廊下の天井高さについて、仕上表及び天井伏図には3300の記載ですが、断面図には3700の図示で違いがあります。仕上表を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -248	A-5-01-3 A-6-01-1	1階来客用昇降口について、天井伏図にはC1/D4-6通りにのみ梁型の図示ですが、平面詳細図にはD6/C1-2通りにもは天井段差の図示があり、違いがあります。平面詳細図を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -249	A-1-12-3 A-5-02-4	2～4階多目的WCについて、平面詳細図にはトイレバックのような破線の図示ですが、他の部屋と同様にL型手摺と跳ね上げ手摺は建築工事と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-250	A-1-11-2 A-05-01-2	1階消火ポンプ室について、仕上表備考欄に消火ポンプ基礎と記載ありますが、平面詳細図に図示ありません詳細を御指示下さい。	1300×3000×H150、900×900×H150 各1か所
A-251	A-1-11-2	1階消火ポンプ室について、仕上表天井仕上げ-と記載ありますが、打放補修素地程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-252	A-6-02-1	消火水槽マンホールとタラップについて、図示通りマンホール3ヶ所に対してタラップ1ヶ所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-253	A-6-02-1 A-9-01-3 S-011	消火水槽釜場寸法について、ピット平面図、構造図に釜場W700×D700×H500の記載がありますが、部分詳細図にW1000×D1000×H600又はW2000×D1200×H600と記載がありくい違います。ピット平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-254	A-10-02-2 S-011	EV(2)ピット高さについて、EV詳細図にH=1250の記載がありますが、構造図ではH=1400とくい違います。EV詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	EV詳細図を正とします。
A-255	A-1-11-2 A-6-01-1 A-2-04-3	1階倉庫(1)天井高さについて、内部仕上表、天井伏図にCH=3300の記載がありますが、断面図のCH=3200の記載とくい違います。内部仕上表、天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-256	A-1-11-2 A-6-01-1 A-2-04-3	1階保健室天井高さについて、内部仕上表、天井伏図にCH=2700の記載がありますが、断面図のCH=3200の記載とくい違います。内部仕上表、天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-257	A-5-01-1 A-9-01-4	1階洗濯室ライニングについて、仕様が不明です。A-9-01-4<10>のライニングD(解剖学実習室)に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。 ライニング幅は100として、下地はLGSで良いです。
A-258	A-5-01-1	1階洗濯室エントリャー扉の額縁について、記載が無く仕様が不明です。樹脂枠 110×25 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

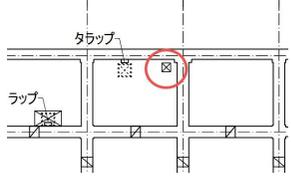
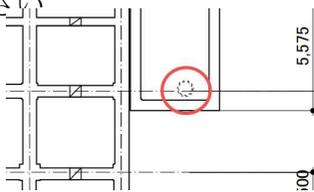
番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-259	A-1-11-5 A-7-03-1	3階教材室天井高さについて、内部仕上表にCH=2700と記載ありますが、展開図ではCH=2900とくい違います。内部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-260	A-1-11-5 A-2-04-3	4階教材室天井高さについて、内部仕上表にCH=2700と記載ありますが、断面図ではCH=2900とくい違います。内部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-261	A-1-11-2 A-6-01-1	1階生徒相談室(1)、(2)、(3)天井高さについて、内部仕上表にCH=3300の記載がありますが、天井伏図にCH=2700の記載でくい違います。内部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	天井伏図を正とします。
A-262	A-1-11-2 A-5-01-2	1階配膳室(プラットフォーム)スロープ下地について、記載が無く不明です。スロープの下地(床組、RC等)を御指示下さい。	コンクリート増しコンです。
A-263	A-1-11-2 A-5-01-2	1階配膳室(プラットフォーム)段差部の納まり詳細を御指示下さい。	前述
A-264	A-1-11-2 A-5-01-2	1階配膳室(プラットフォーム)リフトについて、記載が無く設置箇所が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。また、必要な場合、詳細にて御指示下さい。	不要です。
A-265	A-2-01-4 A-5-03-2	3階配膳室について、平面図、展開図と平面詳細図でプランがくい違います。平面図、展開図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-266	A-5-01-1 A-7-01-5	1階職員室(用務員室)ブラインドボックスについて、平面詳細図、展開図にブラインド、ブラインドボックスの図示がありますが、仕様が不明です。カテンボックスに倣うと考えて宜しいでしょうか。また、ブラインドは本工事と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしいです。
A-267	A-1-11-2 A-5-05-1	1階音楽室・音楽スタジオ・音楽準備室について、仕上表の床レベルに仕上-100/躯体-20と記載がありますが、納まり詳細が不明です。平面詳細図より仕上レベルは±0に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質疑事項	回答
A-268	A-1-11-2 A-3-02-1	1階音楽室について、床が下記のように違いです。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。矩計図が正の場合は、タイルカーペットのメーカー品番を併せて御指示下さい。 ・仕上表：直貼フローリング ・矩計図：バッキング t=14+タイルカーペット t=6.5	よろしいです。
A-269	A-1-11-2 A-5-05-1 A-6-02-2	1階音楽室・音楽スタジオ・音楽準備室の壁について、下記の不明点を御指示下さい。 1) 断熱伏図に壁全面GWの図示がありますが、平面詳細図には図示が無く、違いです。 断熱伏図を正とし、RC壁・間仕切面ともにLGS添壁(LGS+GW+ボード スラブ底まで)が必要と考えて宜しいでしょうか。不可の場合は、納まり詳細を御指示下さい。 2) GWの厚みが下記のように違いです。 すべてt=50 24kg/m3と考えて宜しいでしょうか。 ・断熱伏図：音楽スタジオ t=100 音楽室・音楽準備室 t=50 24K ・仕上表：3部屋ともt=50 3) 上記質疑2)でt=100が正の場合は、密度の記載が無く不明です。 御指示下さい。	1) 断熱伏図を正とします。 間仕切壁はスラブ底まで、RC壁は天井まででよいです。 2) 全てt50 24kg/m3とします。
A-270	A-1-11-2 A-3-02-1	1階音楽スタジオについて、壁仕上が下記のように違いです。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表： 不燃有孔板(ガラス繊維不織布裏打)+EP-G ・矩計図：有孔合板(寒冷紗裏打ち)+EP-G	よろしいです。
A-271	A-1-11-2 A-5-05-1 A-6-01-1 A-7-05-1	1階音楽室・音楽スタジオについて、天井高さが下記のように違いです。CH=3300を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表、天井伏図、展開図：CH=3300 ・平面詳細図：CH=3200	よろしいです。
A-272	A-1-11-2 A-5-05-1 A-6-01-1 A-7-05-1	1階音楽室準備室について、天井高さが下記のように違いです。CH=2700を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表、平面詳細図、展開図：CH=2700 ・天井伏図：CH=3300	CH=3300とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -273	A-5-05-1	<p>1階音楽室について、平面詳細図に鋼板曲げ加工 t=0.6と記載がありますが、詳細が不明です。窓側の黄色範囲(W=300+500)の壁面に天井迄の高さ必要とし、溶融亜鉛メッキ仕上げと考えると宜しいでしょうか。</p> 	溶融亜鉛メッキは不要でSOP仕上とします。
A -274	A-1-11-2	1階美術室・美術準備室について、仕上表の床に長尺塩ビシートのみ記載がありますが、他の部屋と同様に厚みはt=2.0とし、同じメーカー品番と考えると宜しいでしょうか。不可の場合は、厚み・メーカー品番を御指示下さい。	よろしいです。
A -275	A-1-11-2 A-5-05-2 A-6-01-1 A-7-05-2	1階美術室について、天井高さが下記のように違いがあります。CH=3300を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表、天井伏図、展開図：CH=3300 ・平面詳細図：CH=3200	よろしいです。
A -276	A-1-12-2 A-5-05-2 A-7-05-2	1階美術室について、木付ボードが展開図に曲面と記載がありますが、付属従物表・平面詳細図より平面を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -277	A-1-11-3 A-5-05-2 A-6-01-1 A-7-05-2	1階技術室について、天井高さが下記のように違いがあります。CH=3300を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表、天井伏図、展開図：CH=3300 ・平面詳細図：CH=3200	よろしいです。
A -278	A-1-12-3	2階被服準備室について、付属従物表にカーテンボックス W=3300 1か所の記載がありますが、他図に図示が無く、窓も無い為、不要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -279	A-1-11-4 A-6-01-2	2階図書室について、天井GWが仕上表には記載がありますが、天井伏図には記載が無く、違いがあります。天井伏図を正とし、ホルパーのみと考えると宜しいでしょうか。GWも必要な場合は、納まり詳細を御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -280	A-5-06-1 A-11-01-2	<p>2階図書室について、下図 平面詳細図の赤範囲に机W3600×D900 3か所図示がありますが、家具図に記載が無く不明です。別途工事と考えて宜しいでしょうか。本工事の場合は、詳細を御指示下さい。</p> 	よろしいです。
A -281	A-5-06-1 A-11-01-2	<p>2階図書室について、下図 平面詳細図の赤丸にW600×D800程度の図示がありますが、家具図に記載が無く不明です。別途工事と考えて宜しいでしょうか。本工事の場合は、詳細を御指示下さい。</p> 	よろしいです。
A -282	A-2-01-2 A-5-05-1 A-7-05-1 A-11-01-1	<p>階段5(1階WC前)について、展開図に壁面棚板 棚厚20と記載がありますが、下記の不明点を御指示下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平面図には図示がありますが、平面詳細図や家具図に図示が無く、くい違います。下記のサイズで必要と考えて宜しいでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・W1800×D250 9段 2か所 ・W2600×D250 9段 1か所 ・W4900×D250 9段 1か所 2) 棚厚20とありますが、仕様が不明です。御指示下さい。 	取止めとします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -283	A-1-11-6 A-3-02-1 A-4-02-2	階段5について、巾木が下記のようにくい違います。仕上表を正とし、施工範囲は1・2FL部に必要、段部には不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表:ツト巾木 H=60 ・矩計図:木製+WUC	施工範囲は左記のとおりでよろしいです。 巾木は木製+WUCとします。
A -284	A-4-02-2	階段5について、ササ等の鉄骨見掛り部は蹴上・裏面に倣いフッ素樹脂塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	鉄骨見掛り部は全てSOPとします。
A -285	A-4-02-2	階段5について、下り天井の納まり詳細が不明です。LGS19型+GB-R t=12.5+GB-R-H t=9.5+EP-G+端部塩ビ見切縁と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	端部アルミ見切り、その他はよろしいです。
A -286	A-2-01-2.3 A-4-02-2 A-4-03-3 A-5-05-1 A-5-06-1	階段5について、平面図・平面詳細図に点字タイルの図示がありますが、階段詳細図に図示が無く、くい違います。平面図・平面詳細図を正とし、仕様は体育館棟に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	前述
A -287	A-1-12-2 A-7-05-1	1階女子WC(1)の鏡について、付属従物表には1600×1050の記載ですが、展開図にはW1600×H800の図示でくい違います。付属従物表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -288	A-1-12-2 A-5-05-1 A-7-05-1	1階男子WC(1)について、付属従物表に収納戸棚 1800×600×2000 引出し付き 1ヶ所の記載ですが、平面詳細図や展開図には図示が無く、くい違います。付属従物表を正と考えて宜しいでしょうか。可の場合、収納戸棚の仕様を併せて御指示下さい。	収納戸棚は取止めとします。
A -289	A-5-06-1 P-003	2階多目的WC(2)について、器具表に掃除流しの記載がありますが、平面詳細図には図示が無く、くい違います。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -290	A-5-05-2	1階廊下(1)について、平面詳細図のA8-9/B1-2通りにφ200程度の実線の円の図示がありますが、詳細が不明です。御指示下さい。	削除します。
A -291	A-1-11-4 A-5-06-2 A-6-01-2 A-7-06-1	2階廊下(2)の天井高さについて、仕上表には2700と2800の記載ですが、平面詳細図(2)には3500~4200、天井伏図及び展開図には2700の記載でくい違います。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -292	A-5-06-1 A-7-06-1	2階廊下(2)のA3-6/B1通りの平面詳細図に壁面棚板の図示がありますが、展開図には図示がなく、違いがあります。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。可の場合、仕様や段数等が不明です。併せて御指示下さい。	展開図を正とします。
A -293	A-1-11-4 A-3-01-3	2階ブリッジの天井について、矩計図に木ルーバー t20 紀州材加工 キンテコール 2回塗り 小口塗膜防腐塗装の記載ですが、仕上表に記載の木ルーバー 不燃処理保護塗装のことと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -294	A-5-02-3	2階平面詳細図のブリッジと教室棟の取合部に床と壁のEXP. J. Cの図示がありますが、天井にもW=300程度のEXP. J. Cが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要です。
A -295	A-1-11-2 A-3-01-3	2階ブリッジについて、天井ルーバー内の屋根面にEP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -296	A-1-11-4 A-6-01-5	2階受水槽室について、仕上表と天井伏図で天井仕上が下記の様に違いがあります。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表:コンクリート打放し ・天井伏図:ビニールクロス貼	よろしいです。
A -297	A-2-01-1	ピット階下図赤丸部について、釜場W550×D550×H500と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 	削除します。
A -298	A-2-01-1	ピット階下図赤丸部について、マンホールの図示がありますが、トラップの記載がありません。トラップ3段組が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -299	A-2-01-1 A-5-05-1	1階床下点検口について、ピット平面図にA6-7/B3-4通りに床下点検口の記載がありますが、平面詳細図に図示が無く、くい違います。ピット平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -300	A-2-01-1 A-5-05-1	1階床下点検口について、ピット平面図にA10-11/B3-4通りに床下点検口3か所の記載がありますが、平面詳細図に図示が無く、くい違います。ピット平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -301	A-2-01-1 A-5-05-1	1階床下点検口について、ピット平面図にA12/B2通りにマンホールの記載がありますが、平面詳細図に図示が無く、くい違います。ピット平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -302	-	外壁廻り・柱廻りのフカ壁(壁凡例の指定無き箇所)は軸・ボルト共に各室天井までの施工と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -303	A-1-12-5 A-7-11-1	5階武道場の鏡について、付属従物表では計6ヶ所ですが、展開図では3ヶ所の図示とくい違います。付属従物表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	展開図を正とします。
A -304	A-3-03-4 A-5-11-1 A-6-01-5	5階武道場 天井段差の記載が平面詳細図にありますが、天井伏図及び矩計図では該当箇所に段差がありません。平面詳細図の図示通り段差(CH3000部)が必要とし、天井部仕上はGB-Dと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -305	A-3-03-1.2 A-7-11-1	5階武道場 窓前の衝突防止柵について、矩計図ではY1通側のみH1600の図示、展開図ではY1、Y6側にH1200の図示とくい違います。矩計図を正と考えて宜しいでしょうか。部材詳細を併せて御指示下さい。	Y1、Y6通り両側にH1200を設置します。 RBS-2BK1(サンレール)同等品とします。
A -306	A-3-03-1	武道場の屋根下に天井LGSを施工する箇所は何れもブドウ棚を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -307	A-3-03-2 A-5-10-1	4階卓球場の防護柵の施工範囲はY8通側の1面と考えて宜しいでしょうか。また仕上はSOP塗と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	防護柵は取止めとします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-308	A-1-12-3 A-1-12-4 A-11-03-2	体育館・ギャラリーの暗幕ボックスは一般部カーテンボックスと同仕様(木製+WUC)と考えて宜しいでしょうか。また、附属従物表体育館棟3階男子WCのカーテンボックスは誤記と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしいです。
A-309	A-1-12-3 A-1-12-4 A-11-03-1 A-11-03-2	体育館・舞台・ギャラリーの下記項目について、附属従物表と体育施設配置平面図でそれぞれ記載があり、員数等がくい違っておりますが、全て体育施設配置平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・バスケットゴール ・バレーポスト用床金物 ・バドミントンポスト用床金物 ・防球ネット ・カーテンボックス+暗幕 ・ステージ幕装置 ・吊バトン	よろしいです。
A-310	A-1-11-5 A-5-09-1	3階ギャラリーの床仕上げについて、弾性塩ビシートと塩ビシートが併記されておりますが、下足部(山のテラス～床見切)までを塩ビシートt2.0、その他箇所を弾性塩ビシート t6.0と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-311	A-3-03-4	3階ギャラリーのCH3000箇所の天井フコは3mを超えるものと思われます。該当部天井LGS吊用のブドウ棚を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-312	A-3-03-2 A-6-01-3	3階ギャラリー北側の天井仕上について、矩計図ではSOP、天井伏図ではシリコン樹脂塗料塗装とくい違います。SOPを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-313	A-3-03-1 A-7-09-2	3階ギャラリーの手摺について、矩計図ではH=1100、展開図ではH=1300とくい違います。H=1300を正と考えて宜しいでしょうか。部材詳細を併せて御指示下さい。	よろしいです。
A-314	A-5-08-5.6	舞台倉庫～舞台のスロープは設計内訳書の通り木床組とし、合板t12+長尺塩ビシート仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	木床組+合板t12+合板t5.5+長尺塩ビシートとしてください。
A-315	A-5-08-5.6	上記質疑に関連し、舞台倉庫～舞台の階段も木床組+合板t12+長尺塩ビシート仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	同上

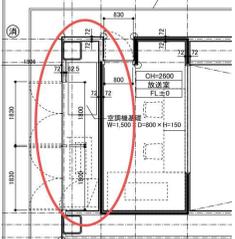
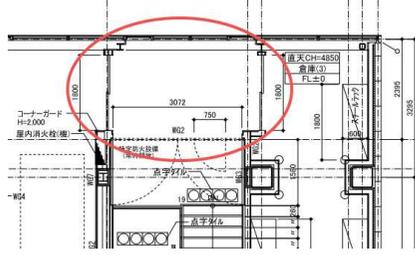
番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-316	A-5-08-5.6	舞台倉庫～舞台スロープ・階段の手摺は設計内訳書の通り(スチールH=800)とし、SOP塗装仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-317	A-11-03-5	舞台～体育館取合の下部木見切及び上部框は何れもWUC仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-318	A-1-11-4	舞台の天井仕上について、仕上表ではLGS+GWボードt25との記載ですが、直天(デッキ裏)にGWボードを施工するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-319	A-1-11-4 A-6-01-2	舞台倉庫の天井仕上が仕上表ではLGS+GB-D、天井伏図ではシリコン樹脂塗料塗装となっておりますが、舞台と同空間のため、同様にGWボードと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-320	A-1-11-6 A-4-03-4	階段1について、仕上表にソト巾木 H=60と記載がありますが、1階のみとし、ササはSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-321	A-4-03-4	上記質疑に関連して、階段1の段裏(鉄骨見掛り部)はSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-322	A-1-11-6 A-4-03-4 A-5-11-2 A-6-01-5	階段1について、最上階の天井が平面詳細図や階段詳細図では直天ですが、仕上表は化粧石膏ボード(CH=2800)、天井伏図は化粧石膏ボード t=9.5(CH=2600)で違いがあります。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	CH3000 化粧石膏ボードとします。
A-323	A-4-03-3.5 A-5-08-6～	階段2について、段数が階段詳細図と平面詳細図で違いがあります。階段詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-324	A-1-11-6 A-4-03-4	階段2について、仕上表にソト巾木 H=60と記載がありますが、各階FLのみとし、ササはSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-325	A-4-03-4	上記質疑に関連して、階段2の段裏(鉄骨見掛り部)はSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-326	A-1-11-6 A-4-03-5 A-6-01-4	階段2について、最上階の天井が階段詳細図や天井伏図では直天ですが、仕上表は化粧石膏ボード(CH=2800)で違いがあります。直天を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-327	A-4-035	階段2について、手摺の図示が階段詳細図(1)では一部壁付手摺ですが、階段詳細図(3)の断面図ではすべて自立手摺で違いがあります。断面図を正とし、内側に自立手摺のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-328	A-2-01-2 A-5-07-2 A-7-07-1	1階女子WC(1)の展開図A、B1面及び平面図にL=3200 W150×H100程度の実線の図示がありますが、平面詳細図には図示が無く、詳細が不明です。御指示下さい。	削除します。
A-329	A-5-08-2 A-7-08-1	2階男子WC(2)の大便器部について、平面詳細図にはライニングの図示がありませんが、展開図には図示があり、違いがあります。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-330	A-1-11-3	1階外部WCの巾木について、仕上表に磁器質タイルの記載ですが、ボード面接着貼と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	コンクリートを立上げてください。
A-331	A-1-12-2 A-7-07-2	1階女子外部WCの化粧鏡について、付属従物表には3132×1050の記載ですが、展開図の図示はW2100×H1050の図示で違いがあります。付属従物表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-332	A-5-07-1 A-7-07-1	1階地域入口横X6/Y7通りの室内の実線の図示は設備盤と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-333	A-1-11-4	2階ホールの天井について、仕上表に木ルーバーの記載ですが、他の部屋と同様にルーバー内はEP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-334	A-1-11-4 A-1-11-6 A-6-01-2	2階ホール及び大階段の天井高さについて、仕上表にはCH=2700の記載ですが、天井伏図にはCH=2400の記載で違いがあります。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -335	A-1-02-8 A-5-07-2	体育館棟の昇降口について、平面詳細図に上部天井点検口：600×600(目地タイプ)の記載ですが、特記仕様書には木ルーバー天井部はルーバータイプ [○] の記載で違いがあります。特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。また、他の部屋についても、木ルーバー天井の場合は同様にルーバータイプ [○] と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしいです。
A -336	A-9-01-3 A-4-08-5	各空調機械室について、平面詳細図に機械基礎の図示がありますが、内部部分詳細図(1)屋内機械基礎詳細図に記載のA～Dのが該当するか不明です。特記無き限りAタイプ [○] と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -337	A-3-03-5 A-6-01-2	空調機械室について、矩計図と天井伏図で梁の耐火方法が下記の様にくい違いがあります。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・矩計図：耐火塗装(1時間耐火) ・天井伏図： 耐火被覆 ロックウール吹付 t=25 1時間耐火	よろしいです。
A -338	A-6-01-3 A-3-03-2	3階ギャラリ-について、矩計図と天井伏図で梁の耐火方法が下記の様にくい違いがあります。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・矩計図：耐火塗装(1時間耐火) ・天井伏図： 耐火被覆 ロックウール吹付 t=25 1時間耐火	露出部は耐火塗装、隠蔽部はロックウール吹付とします。
A -339	A-2-04-1 S-004	耐圧版の厚みについて、構造図ではH=450と記載ありますが、意匠図ではH=350と違いがあります。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -340	A-2-02-1 A-9-01-3	緊急排水槽について、部分詳細図に勾配用の増し打ちの記載がありますが、ピット平面図に記載が無く違いがあります。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -341	A-2-02-1 A-9-01-3	緊急排水槽仕上について、ピット平面図にケイ酸質系防水と記載がありますが、部分詳細図に床、壁、天井共にエポキシ樹脂系ガラスクロス2プライニングと記載があり違いがあります。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ピット平面図を正とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-342	A-2-02-1 A-9-01-3	緊急排水槽部分詳細図02について、部分詳細図とピット平面図のプランがくい違います。ピット平面図を正と考え、部分詳細図02は該当なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-343	A-2-01-1	緊急排水槽マンホール、トラップについて、確認になりますが、図示通りマンホール3ヶ所に対してトラップ1か所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-344	A-2-01-1 A-3-03-1	X5-6/Y1-2通りプランについて、平面図にピットの図示はありませんが、矩計図にピットの図示があり、くい違います。平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-345	A-2-01-1 A-3-03-1	X5-6/Y2-3通りピット埋戻しについて、平面図に埋戻しの図示ですが、矩計図では配管ピットの記載でくい違います。平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	埋め戻しの範囲についてはS-004図を正とします。
A-346	A-2-01-1 A-5-07-1	1階床下点検口について、ピット平面図にX4-5/Y6-7通りに床下点検口の記載がありますが、平面詳細図に図示が無く、くい違います。ピット平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-347	A-2-01-1 A-5-07-2	1階床下点検口について、ピット平面図にX4/Y4通りに床下点検口の記載がありますが、平面詳細図に図示が無く、くい違います。ピット平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-348	A-2-01-1 A-5-08-1	1階床下点検口について、ピット平面図にX1/Y3-4通りにマンホール3か所の記載がありますが、平面詳細図に図示が無く、くい違います。ピット平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-349	A-3-03-5 A-6-02-4～	3～5階X1-2/Y7-8通りPS、EPS廻り断熱材について、矩計図に発泡ウレタンt35の図示がありますが、断熱伏図に図示が無くくい違います。断熱伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-350	A-1-11-3 A-3-03-3	1階石灰庫巾木高さについて、内部仕上表にソフト巾木H=300と記載ありますが、矩計図のソフト巾木H=60とくい違います。内部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	コンクリート立上げH300とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-351	A-1-11-3 A-3-03-3	1階倉庫(1)巾木仕上げについて、内部仕上表に巾木:コンクリートH=300と記載ありますが、仕上が不明です。床仕上に倣い、防塵塗装仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	コンクリート打放補修とします。
A-352	A-1-11-3 A-6-01-1	1階倉庫(2)天井仕上げについて、内部仕上表にC0表し、鉄骨+錆止め塗装と記載ありますが、天井高さではCH=2600と天井がある記載で違い違います。天井仕上は表しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GB-D t9.5 CH=2600とします。
A-353	A-1-11-3 A-6-01-1	1階倉庫(1). (2). 石灰庫天井仕上げについて、内部仕上表にC0表し、鉄骨+錆止め塗装と記載ありますが、天井伏図では7ラットデッキ、鉄骨表し+ロックール吹付の凡例で違い違います。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	倉庫(2)は上記により、その他は天井伏図を正とします。
A-354	A-1-11-4	2階器具庫(1). (2)天井仕上げについて仕上表にC0打放と記載ありますが、構造図ではデッキの記載で違い違います。構造図を正と考え、デッキ表しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-355	A-1-11-4	4階倉庫(3)天井仕上げについて仕上表にC0打放と記載ありますが、構造図ではデッキの記載で違い違います。構造図を正と考え、デッキ表しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-356	A-1-11-3 A-3-03-2	1階会議室床仕上について、内部仕上表にモルタル洗い出し仕上(特注)と記載がありますが、矩計図の直貼りフローリングt15と違い違います。内部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-357	A-1-11-3 A-3-03-2	1階会議室巾木仕上について、内部仕上表に木製+WUC、目透し+AEPの2種類と記載がありますが、矩計図の目透し+AEP1種類のみの記載と違い違います。内部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	前述
A-358	A-1-11-3 A-3-03-2	1階会議室壁仕上について、内部仕上表に漆喰左官仕上(特注)の2種類のみと記載がありますが、矩計図のEP-G、漆喰左官仕上(特注)の2種類の記載と違い違います。内部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-359	A-1-11-3 A-3-03-2	1階会議室ルバー内天井仕上について、内部仕上表に天井内EPと記載がありますが、矩計図の天井内EP-Gと違い違います。内部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

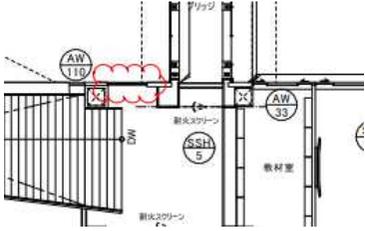
番号	図面番号	質疑事項	回答
A-360	A-5-09-2	<p>3階下図赤丸部の部屋仕上げについて、記載が無く不明です。空調機械室に倣い下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>床:CO+CO増し打ちの上防塵塗装 巾木:ツツ巾木H=60 壁:GWボード t25 天井:デッキ表し 直天</p> 	<p>床:CO+CO増し打ち金ゴテ仕上 巾木:無し 壁:GB-H表し 天井:デッキ表し 直天</p>
A-361	A-5-10-1	<p>4階下図赤丸部の部屋仕上げについて、記載が無く不明です。下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>床:CO+セルフレベリング t20の上長尺塩ビシート t2.0 巾木:ツツ巾木H=60 壁:EP-G 天井:デッキ表し 直天</p> 	<p>天井:フラットデッキ表し+SOP 直天 その他は左記のとおりでよろしいです。</p>
A-362	A-5-11-1	<p>5階脱衣室(1).(2)エントシャワー扉の額縁について、記載が無く仕様が不明です。樹脂枠 110×25 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
A-363	A-8-01-1~5 A-8-02-1~9	<p>AW19、AW109~AW117について、建具表に員数の記載がありませんが、建具キャプションよりすべて1か所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
A-364	A-8-01-1~5 A-8-02-9	<p>AG9について、建具表は7か所とありますが、建具キャプションには6か所しかなく違いがあります。建具キャプションを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
A-365	A-8-01-7~9	<p>アルミ製建具について、仕上が「AMT」とありますが、詳細が不明です。仕上表(1)特記事項にアルミサッシは電解色とあるが、AMTは電解二次着色と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-366	A-8-01-2~3	木製建具の金物について、WD2等TYPE13引違い錠、WD15等TYPE13引戸錠、WD16等TYPE13(錠の記載無し)と、TYPE13でも錠の記載のあるものと無いものがあります。錠の記載のないものについては錠無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	前述
A-367	A-8-02-3	WD28について、枠の材質がスプルースとありますが焼付塗装仕上のためスチール枠と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	枠:スプルース、仕上:SOPとします。
A-368	A-8-01-2~3	上記質疑に関連して、WD28を除く木製建具の枠の仕様について、下記の建具の枠形状はいずれも鋼製大枠の「枠3」とありますが、材質欄にはスプルースとありくい違います。材質欄のスプルースを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・WD14~WD16、WD18~WD27、WD29~WD54、WD58、WD59、WD67、WD68	前述
A-369	A-8-02-3	WD44について、建具表にフラッシュ戸とありますが、姿図及び備考欄にポリカーボネートシートt6.0とあるため、框戸と考え、障子部分にポリカーボネートシートt6.0を入れるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです
A-370	A-8-02-1	SD17, SD13, SD14, SD23, SD31, SD36について、建具表に仕上がりL-40×40×3 ムッキとありますが、格子扉と考え、仕上は溶融亜鉛ムッキ素地仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-371	-	外部建具枠廻りシーリングについて、仕様が不明です。変成シリコン系シーリングと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-372	A-9-05-1~3 A-5-07-2 A-5-08-1~6 A-5-09-1, 2 A-5-10-1 A-5-11-1~3	外部建具枠廻りシーリングについて、建具断面詳細図にはAW66, AW79, AW23, AW104, AW2の図示がありますが、これ以外の建具の図示が無く詳細が不明です。断面詳細図の無い建具については15×10(体育館棟については平面詳細図凡例に記載のある20×10)のシングルシーリングを四周に見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-373	A-8-02-4	確認ですが、防火防煙シャッター-FSH、防煙スクリーンSSH、パイプシャッターPSの枠材質・仕上が建具表にはステンレスHL、軽量シャッター-SSの枠材質・仕上がアルミとありますが、これは記載の通りガイドレールの仕様ではなく枠の仕様と考えて、全てのシャッターにステンレス三方枠が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ガイドレールの仕様です。 軽量シャッターのみアルミ製三方枠を見込んでください。

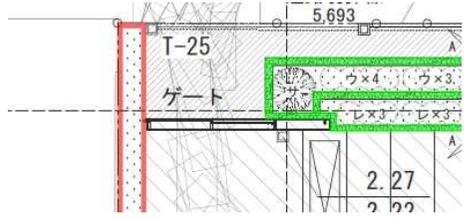
番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-374	A-8-02-4	上記質疑が正の場合、軽量シャッターSSの枠仕上はアルミ製 電解二次着色仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-375	A-8-02-4	防火防煙シャッターFSH、防煙スクリーンSSH、パイプシャッターPS、軽量シャッターSSのガイドレール、マグサ、座板の仕様はいずれもステンレスHLと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	軽量シャッターはアルミ製、その他はSUS製とします。
A-376	A-8-02-6～8	建具表において、複層ガラスの空気層の厚さが不明です。特記なき限りA6と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-377	A-8-02-6～8	下記のアルミ製建具について、建具表に仕上の記載がありませんが、いずれもアルミ仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 AW5, AW16～AW18, AW21, AW22, AW34, AW35, AW70, AW95, AW36～AW41, AW71～AW76, AW96～AW101, AW45, AW46, AW47, AW68, AW69	よろしいです。
A-378	-	鍵箱について、教室棟、メディアセンター棟、体育館棟にそれぞれ1か所ずつ必要と考えて宜しいでしょうか。鍵の収納本数及びメーカー品番を御指示下さい。	付属従物表の職員室に記載の150本用1個で、壁掛けタイプの一般普及品とします。
A-379	A-8-02-1 A-9-05-3	建具表(1) 標準事項14.において、強化ガラス面と耐熱強化ガラス面にはすべて飛散防止フィルムを貼ること、とありますが、建具断面詳細(2)のような強化合せガラスには不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-380	A-8-02-1 A-1-02-5	上記質疑に関連して、特記仕様書(5)には強化ガラス面に加え、フロントガラス面にも飛散防止フィルム貼とありますが、範囲については建具表(1) 標準事項14.を正と考え、強化ガラス面・耐熱強化ガラス面のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-381	A-1-02-5 A-8-02-1 A-8-02-4	特記仕様書(5)において、16.5. 鋼製建具の適用がありませんが、建具表にSD、FSDの記載があるため適用有りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-382	A-1-02-5	特記仕様書(5)において、アルミ製建具及び外部鋼製建具の遮音性能がT-1とT-2が適用になっていますが、それぞれの範囲が不明です。すべてT-1と考えて宜しいでしょうか。不可の場合、それぞれの範囲を御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-383	A-1-02-5	網戸の形式について、特記仕様書(5)には、外部可動式、固定式、横引ロール式の3種が適用になっていますが、それぞれの範囲が不明です。建具表には引違い窓、片引き窓、引分け窓のみに網戸の記載があるため、外部可動式のみが適用になるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-384	A-8-02-5 A-9-01-4	トレブーのH寸法について、建具表はH2700とありますが、内部部分詳細図(2)はH2500とあり違いがあります。建具表を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-385	A-8-01-2	2階教室棟教材室において、外部サッシのAW33が重複していますが、AW33は1か所必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-386	A-8-01-1 A-8-02-6	建具表(6)記載のAW10～AW14について、建具キープランより以下のように読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・AW10 → AW9 ・AW11 → AW10 ・AW12 → AW11 ・AW13 → AW12 ・AW14(W3465×H1700) → AW13 ・AW14(W4315×H1700) → AW14(読替無し) 	よろしいです。
A-387	A-8-02-8 A-9-05-1	AW66について、建具表にはFIX部:FL5+L60+FL5、引き窓部:FL6+L60+FL6とありますが、建具断面詳細図(1)には一部のFIXのみがFL6+L60+FL6で、それ以外がFL5+L60+FL5とあり違いがあります。建具表の範囲を正と考えると宜しいでしょうか。建具断面詳細図(1)を正とする場合、FL6+L60+FL6とFL5+L60+FL5の明確な範囲を御指示下さい。	建具表を正としてください。
A-388	A-1-02-5 A-9-05-2	AW23の耐風圧性について、建具断面詳細図(2)には4F:2776Pa、5F:2912Paとありますが、AW23は2階に設置される建具の為いずれにも該当しません。特記仕様書(5)記載のS-4と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正としてください。
A-389	A-8-02-7 A-9-05-2	AW23について、建具表と建具断面詳細(2)でガラスの仕様が下記のように違いがあります。建具表を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・建具表…FL10+A+(FL5+L60+FL5) ・建具断面詳細(2)…FL8+A6+PT8 	建具表を正としてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -390	A-8-02-7 A-9-05-2	建具断面詳細(2)記載のAW23の詳細図ですが建具表において同一建具のAW24~AW28、AW56~AW61、AW81~AW86にはすべて建具断面詳細(2)のAW23詳細図が適用されるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -391	A-8-02-7 A-9-05-2	上記質疑が正の場合、3階AW56~AW61の耐風圧についてはすべてS-4と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -392	A-8-02-7 A-9-05-2	AW23~AW28、AW56~AW61、AW81~AW86について、W寸法が建具表と建具断面詳細(2)で下記のように違いがあります。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・建具表…W7830 ・建具断面詳細(2)…W7756	よろしいです。
A -393	A-8-02-7 A-7-02-1,2,3 A-7-03-1,2,3 A-7-04-2,3	AW35他、教室~廊下間のサッシについて、姿図が建具表と立面図で違いがあります。建具表の姿図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 	建具表を正としてください。
A -394	A-8-02-1	SD16について、建具表(1)標準事項15. にSAT仕様の障子は、原則としてグラスウール32kg/m3充填とする、とありますが、SD16などのAT扉にも同様にグラスウール32kg/m3充填を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質疑事項	回答
A-395	A-8-01-2	<p>2階AW110横にサッシの図示がありますが、建具符号の記載が無く建具詳細が不明です。建具符号及び建具詳細を御指示下さい。</p> 	<p>AW-120 アルミ製FIX窓 2590×1500 仕様はAW-118に準じる。 建具姿は立面図参照。</p>
A-396	A-8-02-7	<p>AW53について、建具表にFIX部:FL4+L60+FL4、進入口:FL6とありますが、縦切り出し窓部のガラスの仕様が不明です。FIX部同様FL4+L60+FL4と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
A-397	A-8-02-8	<p>AW104について、片開き窓部のガラスの仕様が不明です。FL8+L60+FL8と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
A-398	A-8-02-8	<p>AW77, AW78について、合せガラスの中間膜の厚みが80milとありますが、他の合せガラスに倣い60milに読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
A-399	A-8-02-8 A-9-05-1	<p>AW79のガラスについて、建具表はFL5+L60+FL5とありますが、建具断面詳細図(1)にはFL5+L60+FL5とFL5+L30+FL5の使い分けがありくい違います。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。建具断面詳細図(1)を正とする場合、FL5+L60+FL5とFL5+L30+FL5の範囲を御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
A-400	A-8-02-6 A-9-05-3	<p>建具詳細図(2)記載のAW2詳細図について、同じ体育館棟1階のAW1～AW4は全てこの納まり・仕様に倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
A-401	A-8-02-6 A-9-05-3	<p>上記質疑に関連してAW1～AW4のガラスの仕様が建具表と建具断面詳細(2)で下記のようにくい違います。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表…FL10+L60+FL10 ・建具断面詳細(2)…PT6+L60+PT6 	<p>よろしいです。</p>

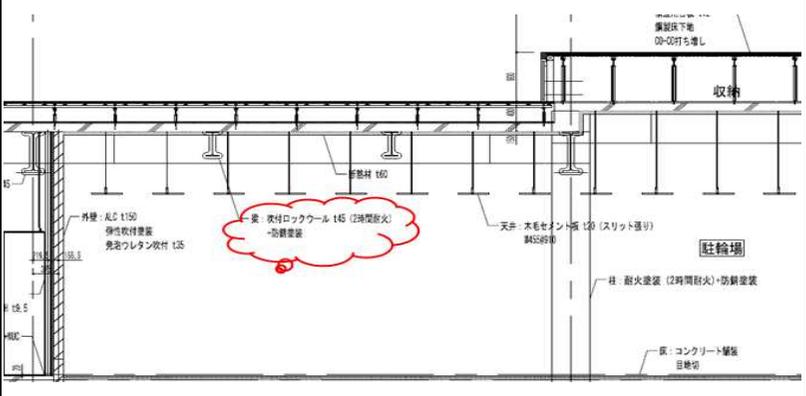
番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-402	A-13-01-1	コンクリート舗装構成について、特記仕様書ではコンクリート:車路部t=100・歩道部t=70 溶接金網入りですが、新設工作物詳細図ではコンクリートt=150 再生砕石t=300となっております。新設工作物詳細図を正とし、仕上はコンクリート金鍍仕上、配筋要領はD10 @200 タテヨダブルと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-403	A-13-01-1	カー舗装構成について、アスファルト舗装同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-404	A-13-03-1	新設工作物詳細図(1) A-A断面図 H750~1500の擁壁施工範囲について、防護柵設置範囲のL=9400と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-405	A-13-03-1	外構図 バルクタンク置場横に記載のある舗装止縁石について、低縁石と同仕様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-406	A-1-02-8 A-13-03-2	側溝および集水桝のグレーチング蓋仕様について、特記仕様書では材質がステンレスと鋳鉄、適用荷重が歩行用のみとなっておりますが、外構図及び新設工作物詳細図では材質はスチール、適用荷重はT-2、T-14、T-25となっております。外構図及び新設工作物詳細図の仕様を正とし特記なき限り細目 ノンスリップ仕様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-407	A-13-03-1	外構図 植栽帯に記載のある自然石ベンチについて、仕様詳細が不明です。御指示下さい。	西海園芸に問合せを行ってください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-408	A-13-03-1	<p>外構図 植栽帯廻りの立上りについて、下記の不明点を御指示下さい。</p> <p>1) 白抜き表記の範囲(下図赤色着色範囲)と砂利凡例表記(下図緑色着色範囲)がありますが、双方共に積み石納まりと考えて宜しいでしょうか。</p>  <p>2) 新設工作物詳細図(6)の断面図に記載の無い植栽帯範囲の断面形状はW400×H300と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
A-409	A-1-02-9	特記仕様書(9) 植栽工事 植栽基盤整備において、浸透性雨水排水設備が適用となっておりますが詳細が不明です。御指示下さい。	適用無しです。
A-410	A-1-02-9	特記仕様書(9) 植栽工事において、移植及び再移植が適用となっておりますが、移植及び再移植の施工範囲が見受けられません。本工事には該当無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-411	A-13-01-1	<p>外構図 植栽本数について、下記のように相違します。平面図本数を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衾ノキ 平面図:6本 植栽一覧表:5本 ・ウバカシ 平面図:43本 植栽一覧表:42本 ・オヤマレンゲ 平面図:48本 植栽一覧表:47本 	植栽本数については別途指示します。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-412	A-13-01-1	外構図 教室棟北側植栽帯において、植栽符号『ク』が2本ありますが、植栽一覧表には符号『ク』はありません。植栽符号『ク』が適用の場合、樹種を御指示下さい。	同上
A-413	A-13-03-1 A-15-01-4	新設工作物詳細図(1) スロープ 納まりについて下記の不明点を御指示下さい。 1) 歩行者スロープ 及び階段の小口立上り仕上は打放補修素地と考えて宜しいでしょうか。 2) C-C断面図において、スロープ 法肩部にグレーチング 蓋新設 L=1100とありますが撤去工作物詳細図(2) 13.メッシュフェンス撤去のL型側溝撤去範囲の12.0m範囲を蓋新設範囲と考えて宜しいでしょうか。	1) よろしいです。 2) よろしいです。
A-414	A-13-03-2	コンクリート塀、目隠しフェンス基礎、擁壁の仕上について、透湿防水型複層塗材E ゆず肌仕上と考えて宜しいでしょうか。メーカー番と併せて御指示下さい。	外装薄塗材E ゆず肌仕上 とします。
A-415	A-13-03-2	新設工作物詳細図(2) 集水枿について、下記の不明点を御指示下さい。 1) H寸法は外構図の管底レベル・枿天レベルによるとありますが、外構図にレベルの表記がありません。H寸法はH=1000と考えると宜しいでしょうか。 2) 配筋要領について、D10 @200と考えると宜しいでしょうか。	1) よろしいです。 2) 同等品の二次製品を使用してください。
A-416	A-13-03-3	新設工作物詳細図(3) バルクタンク置場について、下記の不明点を御指示下さい。 1) コンクリート面の仕上について、天端・床はコンクリート金鰻、立上りは打放補修素地と考えて宜しいでしょうか。 2) 点検用水密性扉について、スチール製アクリルシリコン樹脂塗装2級仕上と考えると宜しいでしょうか。	1) よろしいです。 2) よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-417	A-13-03-3	新設工作物詳細図(3) オイルタンク基礎において、乾燥砂充填後のスラブ底面に防水施工との記載がありますが、防水仕様及び詳細が不明です。御指示下さい。	スラブ底面の防水は削除します。 スラブ天端に防水モルタル塗りとしてください。
A-418	A-13-03-3 A-13-03-5	バルクタンク置場、国旗掲揚ポール基礎仕上について、天端及び床はコンクリート金鍍仕上、立上りは打放補修素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-419	P-201	給排水衛生設備 浄化槽 一般構造図に記載のあるブロー基礎について、下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 1) 基礎根入れ寸法についてH=100と 考えて宜しいでしょうか。 2) 配筋要領について、D13 @200と 考えて宜しいでしょうか。 3) 地業について、捨てコンクリート t=50 砕石 RC-40 t=100と 考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
A-420	A-14-02-1	サイン詳細図(1) A-02:駐輪場誘導基礎及びA-03:駐車場誘導基礎の配筋要領について、D13 @200 シングルと 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-421	A-1-02-8	特記仕様書(8) エント及びその他工事に記載のある下記項目について、施工範囲(員数)及び詳細が不明です。御指示下さい。 ・30. 旗竿受金物 ステンレス製 ・35. 柱コーナーガード 衝撃吸収材 ・48. 点字鋲 ステンレスポリカ打込タイプ	削除します。
A-422	A-1-11-1	仕上表(1) 外構に記載のある下記項目について、施工範囲(員数)及び詳細が不明です。御指示下さい。 ・一面ポール時計 スチール 溶融亜鉛メッキ ・入り口 バリカー ステンレス既製品	・一面ポール時計:電気工事とします。 ・バリカー:削除します。
A-423	-	外構工作物コンクリート強度について、特記なき限りFC21N S15(捨てコンクリート FC18N S15)と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答																												
A -424	-	下記項目のメーカー品番を御指示下さい。 ・北面入口ゲート	前述																												
A -425	アスファルト防水共通質疑	<p>1)AS防水露出でもあってもB-1仕様で計上でよろしいでしょうか B-1だと各棟全てt60断熱材必要となります</p> <p>2)体育館808㎡t60断熱材を見込み、他棟は不要と考えてよろしいでしょうか 備考;体育館内外装の設計書に硬質ウレタンボード t60 敷込記載あります が防水保証上分けられませんので、防水工事に共計上させていただきますか</p> <p>3)床軽歩行用保護材の各棟適用、用途範囲があっていません。ご確認をお願いします (テラス床(デッキ部下部)すべて必要では?)</p> <p>4)上記の修正ありました 設計書の修正をご提示ください</p> <p>●補足 特記仕様書にてB-1仕様(保護仕様) 断熱材t60で記載されていますが 図面、設計書に体育館808㎡の箇所しか保護コンクリートがありません また断熱材t60は各棟断面図には内断熱、露出にて記載ありません 備考:テラスデッキにて、断熱ASの上には固定不可能です</p> <p>●特記仕様書</p> <table border="1" data-bbox="539 933 1301 1054"> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">9 防 水 工 事</td> <td colspan="2">① アスファルト防水</td> <td>(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3~表9.2.8)</td> </tr> <tr> <td>種 類・種 別</td> <td></td> <td>施工箇所</td> </tr> <tr> <td>○B-1</td> <td></td> <td>屋上、テラス</td> </tr> <tr> <td>△B-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>△D-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>△E-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>アスファルトの種類</td> <td>※3種</td> <td>(9.2.2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>断熱工法の断熱材</td> <td>厚さ(mm) ※25 ○60</td> <td>(9.2.2)</td> </tr> </table> <p>【教室棟】 床アスファルト防水B-1 平場148m2 テラス床アスファルト防水B-1 平場1016m2 床軽歩行用保護材148m2</p> <p>【体育館】 屋根アスファルト防水B-1 平場808m2 床アスファルト防水D-1 平場111m2(2階機械室置場) テラス床アスファルト防水B-1 平場209m2 テラス床軽歩行用保護材209m2</p> <p style="text-align: right;">【メディアセンター】 テラス床アスファルト防水B-1 平場156m2</p> <p style="text-align: right;">体育館内外装計上 屋根硬質ウレタンボード t60 敷込808m2</p>	9 防 水 工 事	① アスファルト防水		(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3~表9.2.8)	種 類・種 別		施工箇所	○B-1		屋上、テラス	△B-2			△D-1					△E-1			アスファルトの種類	※3種	(9.2.2)		断熱工法の断熱材	厚さ(mm) ※25 ○60	(9.2.2)	<p>1)前述 2)よろしいです。 3)デッキ下部は軽歩行用保護材不要です。 鋼製床下地の脚部分のみ増し張り等の補強を行ってください。</p>
9 防 水 工 事	① アスファルト防水			(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3~表9.2.8)																											
	種 類・種 別			施工箇所																											
	○B-1			屋上、テラス																											
	△B-2																														
	△D-1																														
		△E-1																													
	アスファルトの種類	※3種	(9.2.2)																												
	断熱工法の断熱材	厚さ(mm) ※25 ○60	(9.2.2)																												
A -426	軒先軒樋共通 A-9-03-1~	軒樋塩ビシート防水ですが 現在仕様では特注色は不可能ですよろしいでしょうか	よろしいです。																												

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
<p>A -427</p>	<p>仕様書(7) A-1-02-07 断熱材について</p>	<p>●断熱材吹き付け部が室内にあらわしとなる部分で内装不燃の指定がある場合には母材とセットで不燃認定となる工法の防火コートを実施と記載されている件で 1) 上記防火コートの仕様をお教えてください (不燃ウレタン仕様が必要と思われます) 設計書での仕様ごとの数量区分もお願いします またA-6-02-2断熱範囲 (伏図) にて仕様と範囲特定をお願いします 参考 不燃コート エスケー化研 セタウ2号U t11 ●断熱吹き付け部が室内に表しとなる部分に応じた着色を見込むと記載 2) 設計書塗装にて天井露出面積分があり、上記を断定できません。特定した数量をご提示ください</p>	<p>1)仕様については参考仕様同党としてください。 範囲は後日追加図面を提出します。 2)「天井露出面積分」がルーバー天井である場合、ルーバー天上面積すべてを該当面積としてください、</p>
<p>A -428</p>	<p>外部軒天 耐火被覆ロックウール吹 付 について</p>	<p>下記は体育館矩計図 A-3-03-2にて 雲印にて ロックウール吹き付け+防塵塗装と記載あります (体育館は凡例にて記載) 1) 防塵塗装の明細が設計書 (数量書) 無いように思われます 2) 防塵塗装は仕様をお教えてください 3) 上記フィルターでしたら1回吹きで宜しいでしょうか 4) 3棟にわたって該当箇所 (外部 風圧かかる範囲) あると思われ れます。 範囲のご指示とせ設計書の変更指示書をお願いします 追記：面積区分は必要ですが、フィルターの場合ロックウール吹に追加加筆をお願いします</p> 	<p>1)参考数量のため必要箇所は数量計算してください。 2)～(フィルター) 3)1回or2回</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-429	A-9-04-1～ EXP・Jについて	設計書(数量書)にEXP。J及びその周辺の金物記載がありません 明細追加をお願いします	【外部】 EU-150 耐火帯+EVシート 12.1m EU-150C 耐火帯+EVシート 13.6m H-757-APW 耐火帯+EVシート 27.1m 床カバー ウッドデッキ仕上げ W=580 20.3m 【内部】 NBU-150 8.1m NBU-200 13.4m S15-ACWC 8.4m 床カバー フローリング仕上げ W=310 10.8m
A-430	各棟木ルーバーについて	各棟の天井木ルーバーですがW450 t20 1枚板では、材料集めるのに無理があります。W150 x 3にて 考えてよろしいでしょうか。 また固定方法は下部からW150に対し2か所SUSビス止めで宜し いでしょうか	前述 固定方法は裏面からビス止めとしてください。
A-431	教室棟にて	金属設計内訳書No.50と54にて内外共最下行に 名称「物」1 式と記載あります、内容をお教えてください	前述
A-432	教室棟にて	嵌合立平葺きにて さざ波加工が矩計A-3-01 記載されてい ますが特記仕様書、設計内訳書にはありません。さざ波加工 を施すと理解してよろしいでしょうか	よろしいです。
A-433	教室棟にて	外部2~4階の目隠しルーバーが設計内訳書No.49でH=4000 立面図A-2-03-1ではH2400です。 立面図を正で宜しいで しょうか	よろしいです。
A-434	教室棟にて	外部1階の目隠しルーバーが設計内訳書No.49でH=2400 立面図A-2-03-1ではH3400です。 立面図を正で宜しいで しょうか	よろしいです。
A-435	教室棟にて	昇降設備図 A-10-01-1 にてかご仕様がSUSHLとなっていま すがA10-01-3では化粧鋼板となっています。教室棟もSUSHL と考えてよろしいでしょうか	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-436	メディアセンター棟にて	内部仕上表A-1-11-2～ 左下特記事項にて仕様メーカー名記載ありますタイカヘット（音楽スタジオ）Interface EastCoaste（日本カタログ無、海外調達品） 設計書該当箇所ですがNo.158のタイカヘット6.5 136㎡に該当するかと考えてよろしいでしょうか	よろしいです。
A-437	メディアセンター棟にて	設計内訳書No.163ユニットにて{入}W2700×H1800 2か所と記載されています。入)をUDスライダ-曲面木付ボードと入替えてよろしいでしょうか。ご確認ください	前述
A-438	メディアセンター棟にて	嵌合立平葺きにて さざ波加工が矩計A-3-012記載されていますが特記仕様書、設計内訳書にはありません。さざ波加工を施すと理解してよろしいでしょうか？	よろしいです。
A-439	体育館にて	ギャラリーアルミ製 H1300 平部手摺の手摺子間隔は100ピッチと設定してよろしいでしょうか	よろしいです。
A-440	体育館にて	嵌合立平葺きにて 教室棟、メディアセンター棟にはさざ波加工が矩計に記載されていますが 体育館A-3-03-1図には記載されていません。不要と考えるとよろしいでしょうか	
A-441	体育館にて	設計内訳書No.214 金属自立手摺にFUという記号ついていません（例：天端笠木:St FB-6×32 FU）FUの意味は フタル酸塗装込の事でしょうか ＝（塗装工事で手摺塗装アクリルシリコン記載してますので塗装は含まなくてよろしいでしょうか）	誤表記です。 手摺はアクリルシリコン塗装とします。
A-442	体育館・武道場鋼製床 フローリング仕上の範囲 について	1) 床部に換気口、点検口が必要と思われませんが、図中配置ありません 必要であれば下記を計上してもよろしいでしょうか 体育館換気口アルミエースピット200x1000開閉式、防虫メッシュ付き 20か所 体育館点検口600角 アルミ枠 鍵なし 2か所 武道場換気口アルミエースピット200x1000開閉式、防虫メッシュ付き 16か所 武道場点検口600角 アルミ枠 鍵なし 2か所	A-11-03-4～7図に記載の通りです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-443	体育館・武道場鋼製床 フローリング仕上の範囲 について	2) A-9-01-1 (7・8・27) 一般詳細図(1)にて床端部緩衝材必要と思われませんが、不要でしょうか 必要であれば下記を計上してもよろしいでしょうか エキスパンジョイントφ18x20 68m ※ 体育館に武道館含め計上 3) 上記必要となれば、設計書(数量書)への追記となりますので、変更設計書ご提示をお願いします ※フローリング及び鋼製床㎡単価に按分することは、避けさせていただきます。	上記の通りです。
A-444	体育館・武道場にて	設計書にて体育館 壁天然木複合壁材t15 533m ² 及び武道館にて壁天然木複合壁材t15 176m ² あります。これは仕上表(A-1-11-1)の不燃天然木 杉 アドミック同等でしょうか? →アドミックt15では該当商品ありません 複合壁材=構造用合板(杉) 不燃 910x1820として計上して宜しいでしょう	前述
A-445	武道館にて	設計内訳書No.275 鉄骨附帯にてファインフロー下地鉄骨の項目ありますが、数量記載ありません。数量ご指示をお願いします また仕上にファインフローの明細ありません	下地鉄骨:1.2t ファインフロー:98.3m ²
A-446	武道館にて	アルミ製 H1600 手摺子間隔は100ピッチと設定してよろしいでしょうか	前述
A-447	武道館にて 塔時計について	立面図凡例④ 塔時計:CITIZEN P-4430-1 同等品のALC補強要領及び取付要領をご指示ください(立面図A-2-03-6) 明細追記表現の場合、追記方法もご指示ください	取付方法は時計メーカー仕様とします。 補強は開口補強に準じます。
A-448	武道館にて 塔時計について	立面図A-2-03-6凡例④ 塔時計:CITIZEN P-4430-1 同等品。 設計内訳書塔時計φ2500、CITIZEN P-4430-1 同等品 基本品番を正として考えてよろしいですか	電気工事とし、建築工事から削除します。
A-449	武道館にて	武道館型枠明細にて 人通孔項目が体育館と重複していると思われます。 ご確認の上 明細修正方法ご指示ください A-2-01-1	武道場到人通孔は計上していません。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-450	大階段 木パネルについて	A-2-03-7及びA9-02-1～6 大階段木パネルの件で 1) パネル1か所にて1枚の桧でしょうか、現在入手不可またソリの問題もあります。W150～200を突き合せにて構成するパネルとして考えてよろしいでしょうか 2) 裏面もキシラデコールを施す事で宜しいでしょうか 3) 取付金物共の設計書(数量書)ですが、3次元にて数量読み取れません。 数量のご指示(ブレース箇所数含め) いただけないでしょうか	1)、2) 前述 3) 別紙参照
A-451	外構にて	設計内訳書別紙分 目隠しフェンス基礎数量No.308、コンクリート塀数量No.310に数量0記載あります。上下数量から読み取り修正してもよろしいでしょうか	目隠しフェンス基礎:0.02m ³ コンクリート塀:0.03m ³
A-452	外構コンクリート材にて	構造図仕様S-A02の4節の単位水量180kg/m ³ は適応無しでよろしいでしょうか?	185kg/m ³ 以下とします。
A-453	地盤改良にて	S-003図にて固化材の選定及び添加量の算定は室内配合試験によるという記載があります。 見積時点では室内配合試験未実施につき、150kg/m ³ 添加するものと考えて算出して宜しいでしょうか。	前述
A-454	水替え費にて	内訳書NO.562の共通仮設費に水替え費があります。 A-15-01-1図に地盤改良施工時に水替えを見込むことと記載があります。 この水替えはディープウェルもしくは釜場排水のどちらで見込むのか御指示願います。	地盤改良の施工が可能な適正な工法を選択してください。
A-455	フローリング材にて	A-1-02-7図の特記仕様書では単層フローリング t15×120×1820mmもしくは単板2mm以上の複合フローリングに代替できるとあります。 記載同等寸法の複合フローリング オーク単板3mm UVセラミック塗装として宜しいでしょうか。	よろしいです。
A-456	体育館床下地鋼製床	体育館床下地鋼製床で図面A-9-01-1一般詳細図(1)にスポーツボード t12とありますが、A-11-03-4図他では針葉樹合板 t12となっています。針葉樹合板 t12として宜しいでしょうか。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-457	フローリング	A11-03-4～6図のスペシャルハイド カバ t6塗装に関して、1回塗りはウレタン樹脂ワニスとして宜しいでしょうか。	フローリングメーカーの仕様による。
A-458	軽量鉄骨天井下地にて	A-1-02-4図の特記仕様書にて、軽量鉄骨天井下地の大空間等の天井下地材における耐震性を考慮した補強を行うとなっておりますが、設計内訳書には耐震軽量鉄骨天井下地の項目がなく、一般の軽量鉄骨天井下地の項目しかありません。各建屋の耐震軽量鉄骨天井下地の数量をご指示下さい。	本工事においては耐震軽量鉄骨下地はありません。
A-459	軽量鉄骨天井下地にて	A-1-02-4図の特記仕様書にて、軽量鉄骨天井下地の屋外の軒天井、ピロティ等の耐風補強が有りとなっておりますが、設計内訳書内には軒天井の軽量鉄骨天井下地の項目がなく、一般の軽量鉄骨天井下地の項目しかありません。各建屋の軒天井の軽量鉄骨天井下地の数量をご指示下さい。	屋外の軽量鉄骨天井下地は全て耐風補強の対象です。
A-460	耐火塗装にて	A-1-02-6図の特記仕様書の塗装工事の耐火塗装にて、平滑に仕上げると記載がありますが、耐火塗装を鏡面のよう仕上げすることはできません。平滑（ゆづ肌）仕上げと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
A-461	軽量鉄骨壁下地にて	間仕切り壁の軽量鉄骨壁下地において、壁高さが5mを超える箇所があります。5mを超える場合、軽量鉄骨壁下地を受ける重量鉄骨が必要となりますが、内訳書にありません。内訳の追加と考え、数量をご指示願います。	後日追加図面を提示します。
A-462	軽量鉄骨壁下地にて	A-9-01-1図の14と15に有孔板の納まり詳細図があります。その図面では石膏ボード+石膏ボード+グラスウール+有孔板となっておりますが、この納まりではグラスウールが潰れてしまい、吸音効果が発揮できません。石膏ボードとグラスウールの間に軽量鉄骨壁下地が必要ですが、内訳書にありません。内訳の追加と考え、数量をご指示願います。	必要に応じて下地を設けてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-463	アスファルト舗装にて	A-13-03-2図の4 低縁石の納まり図にてアスファルト舗装の仕様が細粒度ギャップと記載がありますが、細粒度ギャップは寒冷地仕様です。一般の細粒度アスコンと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
A-464	アスファルト舗装にて	A-13-03-2図の4 低縁石の納まり図にて路床の仕様が粗粒材80mm級t=150と記載がありますが、使用する材料は小栗と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
A-465	アスファルト舗装にて	A-13-03-2図の4 低縁石の納まり図にて路盤の仕様が粗粒材40mm級t=250と記載がありますが、使用する材料はM-40と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
A-466	カラー舗装	A-13-01-1図の外溝図にてカラー舗装の記載がありますが仕様が不明です。弁柄密粒度アスコンと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
A-464	廃瓦骨材利用保水性舗装	A-13-03-5図の16 廃瓦骨材利用保水性舗装の納まり図にて路盤の仕様が粗粒材40mm級t=150と記載がありますが、使用する材料はRC-40と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
A-465	U型側溝	A-13-03-2図の9 U型側溝の納まり図にてU型側溝が北海道の仕様となっていますので、和歌山県型道路側溝G250として宜しいでしょうか。	よろしいです。
A-466	U型側溝	内訳書No. 305にU型側溝のU240のコンクリート蓋のタイプの項目がありますが仕様が不明です。JIS型落蓋式U型PC-3と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
A-467	集水柵	A-13-03-2図の10 集水柵の納まり図にて側面の厚みがt=100となっていますので、肩肉圧会所と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
A-465	石材	A-13-03-6図にて花壇の図面がありますが、石材の仕様が不明です。石材は丹波石と考えると宜しいでしょうか。	西海園芸に問合せを行ってください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答		
A-466	ベンチ	内訳書No. 332とA-13-01-1図にウリン材ベンチ及び自然石ベンチの記載がありますが、詳細がありません。仕様の詳細及び納まりを御指示下さい。	同上		
A-467	仮設工事	A-1-02-2図の2 仮設工事の11 ライブカメラとありますが、11の番号に○印がないので、11 ライブカメラの項目は全て該当しないと考えるて宜しいでしょうか。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> ⑨ 材料置場・小屋等 ⑩ 鉄板敷き 11 ライブカメラ ⑫ 付属物 </td> <td style="width: 70%; vertical-align: top;"> ※ 適宜用意すること ※ 工事進捗にあわせ適宜配置すること ※ 設置する。(定点でサイト全景を高所より撮影するもの。) ※ 低解像度圧縮データCIF (352×288) の記録装置を含む。 ※ インターネットにより工事関係者がアクセス可能であること ※ カメラ4台程度、30FPS ※ 遠隔地における工事進捗状況確認を目的としている。工事期間中の防犯等を目的とするものは施工の任意による。 (参考) K-guard システム 同等品 ※ 資材・仮設材等の地中残置は認めない </td> </tr> </table>	⑨ 材料置場・小屋等 ⑩ 鉄板敷き 11 ライブカメラ ⑫ 付属物	※ 適宜用意すること ※ 工事進捗にあわせ適宜配置すること ※ 設置する。(定点でサイト全景を高所より撮影するもの。) ※ 低解像度圧縮データCIF (352×288) の記録装置を含む。 ※ インターネットにより工事関係者がアクセス可能であること ※ カメラ4台程度、30FPS ※ 遠隔地における工事進捗状況確認を目的としている。工事期間中の防犯等を目的とするものは施工の任意による。 (参考) K-guard システム 同等品 ※ 資材・仮設材等の地中残置は認めない	よろしいです。
⑨ 材料置場・小屋等 ⑩ 鉄板敷き 11 ライブカメラ ⑫ 付属物	※ 適宜用意すること ※ 工事進捗にあわせ適宜配置すること ※ 設置する。(定点でサイト全景を高所より撮影するもの。) ※ 低解像度圧縮データCIF (352×288) の記録装置を含む。 ※ インターネットにより工事関係者がアクセス可能であること ※ カメラ4台程度、30FPS ※ 遠隔地における工事進捗状況確認を目的としている。工事期間中の防犯等を目的とするものは施工の任意による。 (参考) K-guard システム 同等品 ※ 資材・仮設材等の地中残置は認めない				
	【電気設備】				
E-1	設計書 No.373	工事説明書に動力盤の記載がありません。各動力分岐設備に追加すると考えるて宜しいでしょうか。ご教示お願い致します。	E-018～021図面に記載の動力制御盤を本工事にて見込むこと。		
E-2	E-045	器具表上部に記載しています階段ED×1台、02×2台、倉庫H2×4台について平面図に記載していなように思われますので、設置場所をご教授願います。	平面図に記載している照明器具の配置を正とすること。		
E-3	E-017	幹線リストのGL201について、EM-CET250×2となっていますが、EM-CET250×1ではないでしょうか。ご教授願います。	EM-CET250×2とすること。		
E-4	E-009～E-015	発電機の電気配線について仕様が不明の為、ご教授願います。	2回目の質疑回答時の回答する。		

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
E -5	E-004	工事区分について天井開口は本工事と考えてよろしいでしょうか。	開口補強が必要な開口は、建築工事とすること。
E -6	E-004	工事区分について基礎については建築工事と考えてよろしいでしょうか。	建築工事とすること。
E -7	E-059	T-G-2-2、T-G-3-1、T-G-3-2、T-G-4-1の盤について点線になっていますが端子盤は本工事と考えてよろしいでしょうか。	本工事とすること。
E -8	E-089	EM-GI50/125-2Cケーブルについて光成端処理費も本工事と考えてよろしいでしょうか。	本工事とすること。
E -9	A-2-03-5 内訳書No.242	塔時計・ポール時計において、図面と内訳書で差異があります。 ・ポール時計：図面CITEZENKST-752C 750角、内訳書Φ1800 ・A-2-03-5図750角を正と考えて宜しいでしょうか。 ご教示お願いいたします。	ポール時計:CITEZEN KST-752C → KST-702C Φ700に読み換え 塔時計:CITEZEN TAM25-B25 P-4430-1 Φ2500 ともに電気工事とします。
E -10	内訳書No.373他	内訳書に動力盤の記載がありません。 各動力分岐設備に追加すると考えて宜しいでしょうか。 ご教示お願い致します。	動力分岐設備に動力制御盤を見込むこと。
E -11	内訳書(動力盤) について	内訳書に動力盤の記載がありません。 各動力分岐設備に追加すると考えてよろしいでしょうか。 ご教示お願い致します。	動力分岐設備に動力制御盤を見込むこと。
E -12	内訳書及び 図面について (塔時計・ポール時計)	塔時計・ポール時計において、図面と内訳書で差異があります。 ・ポール時計：図面CITEZENKST-752C 750角、内訳書Φ1800 ・A-2-03-5図750角を正と考えてよろしいでしょうか。 ご教示お願いいたします。	前述

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
	【機械設備】		
M-1	P-006、007、008	排水水中ポンプ系統の配管材質は硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) と考えてよろしいでしょうか？	耐衝撃性硬質塩化ビニール管 (HIVP) とします。
M-2	P-009～020 NO.505-507 NO.523-524 NO.542-543	排水・通気ともに、排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管と硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) の記載がありますが、どのように使い分けられているのかご教示ください。	床下ピット部分をVPとし、それ以外を排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管とします。
M-3	M-015	メディアセンター調理室のSUS製フードの高さが分かりません。ご教授ください。また、グリスフィルターは必要でしょうか？	高さは500Hとします。 また、グリスフィルターは不要とします。
M-4	M-015	換気のボックスは0Aのみ保温を施工するという認識でよろしいでしょうか？	よろしいです。
M-5	M-18	武道場の吹出口SA 660CHM x44箇所BOXの大きさが分かりません。ご教示ください。	メインダクトから下に直接制気口を設置する形にしますので、ネックのダクトのみ見込んで下さい。
M-6	—	工事説明書で分けられている武道場は体育館5階のY1～Y6通りの部分とそれに関わる空調の室外機及び配管のみを指すと考えてよろしいでしょうか？	よろしいです。
M-7	M-24	EHP-C-402の系統ですが、冷媒サイズ記号がKとなっており、液管18.5φ、ガス管31.75φとなっていますが、設計書NO.492に同径の配管が計上されていません。別途計上してよろしいでしょうか？	EHP-C-402の冷媒サイズGです。 EHP-C-401の冷媒サイズKですので追加計上して下さい。
M-8	—	受水槽の引き込み管径は40A、定水位弁等は50Aとなっておりますが、どちらを正とすればよろしいでしょうか？	40Aを正とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-9	—	工事説明書の全体共用と外構との区分けについて、特に給水設備と排水設備の区分をご教示下さい。	給水 全体共用:本館分岐～受水槽～加圧給水ポンプ～受水槽室内 外構:メイン引込管より外構の散水栓系統分岐以降を外構工事 排水 建物工事:建物～排水桝接続まで 外構:桝以降で浄化槽まで 全体共用:浄化槽～水路まで 浄化槽用の曝気ブローア配管 緊急用排水槽の通気管一式
M-10	P-005	桝番号7番の蓋仕様ですが、塩ビ蓋+化粧蓋となっていますが、铸铁蓋+化粧蓋MHAではないでしょうか？	铸铁蓋+化粧蓋MHAとします。
M-11	MP-001～003 A-1-02-1～9	特記仕様書(2) 一般共通事項 40他工事との工事区分において、「図面に特記のない場合は別紙「工事区分表」による」と記載されています。機械設備特記仕様書及び建築特記仕様書に工事区分表がないため別紙「工事区分表」を頂けないでしょうか。	工事区分表はないため、図示の範囲を本工事範囲と読み替えて下さい。
M-12	MP-002	特記仕様書(2) 一般共通事項 51その他において、「機器類の塗装色は指定色とする」と記載されています。指定色とする機器を御教示願います。	体育館棟1Fにある浄化槽制御盤とします。 それ以外は標準色とします。
M-13	A-6-01-1～4	建築図 1階～4階天井伏図において、ルーバー天井の部分がありますが、保温仕様は屋内露出と考えて宜しいでしょうか	よろしいです。
M-14	—	棟分けはEXP. J部と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-15	MP-001	特記仕様書(1) 一般共通事項 13. 室内空気中の化学物質の濃度測定 の項において、濃度測定については、建築工事主体で行い、機械工事としては換気設備の運転を行なう等協力することと考えて宜しいでしょうか。	設備単体で30カ所測定を見込んで下さい。
M-16	MP-003	特記仕様書(3) 空気調和設備 24. 防振基礎において、送風機の防振基礎は金属バネとなっていますが、今回ユニット型の空調機は無いことから、この項目は該当無しと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-17	MP-002	特記仕様書(2) 空気調和設備 2.室内許容騒音レベルの項で、許容値を満たす消音装置は図示されていると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-18	MP-003	特記仕様書(3) 換気設備 2.風量測定口において、今回工事の換気フローは個別式で、中央式は有りません。風量測定口は不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-19	M-001 M-023	空調換気設備 機器表(1)において、EHP-C-103-3は1台と なっていますが、平面図は2台あります。平面図を正とし、2台と考えて宜しいでしょうか。	機器表を正として1台として下さい。
M-20	M-001 M-023	空調換気設備 機器表(1)において、EHP-C-204は上部排気フードがありませんが、同じ室外機置場に設置しているEHP-C-203は付属しています。EHP-C-204にも上部排気フードを見込むと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-21	M-002 M-024	空調換気設備 機器表(2)において、EHP-C-404は上部排気フードがありませんが、同じ室外機置場に設置しているEHP-C-403は付属しています。EHP-C-404にも上部排気フードを見込むと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-22	M-002 M-003	空調換気設備 機器表(1)・(2)において、EHP-C-405、EHP-G-201、EHP-G-501にアクティブフィルター付属と なっていますが、冷房能力22.4kW未満のため不要と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-23	M-002 M-024	空調換気設備 機器表(2)において、EHP-C-403-3は天井カセット(2方向)と なっていますが、平面図は天井カセット(4方向)です。平面図を正とし、天井カセット(4方向)と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-24	M-003 M-025	空調換気設備 機器表(3)において、EHP-M-102-1は1台と なっていますが、平面図は2台あります。平面図を正とし、2台と考えて宜しいでしょうか。	機器表を正として1台として下さい。
M-25	M-003 M-014 M-025	空調換気設備 機器表(3)においてEHP-M-202-1は3台と なっていますが、平面図は2台しかありません。平面図を正とし、2台と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-26	M-003	空調換気設備 機器表 (3) において、EHP-G-201、EHP-G-501の備考欄にコンクリート基礎（建築工事）の記載がありません。設備工事において樹脂製置台を見込むと考える宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-27	M-005 M-011	空調換気設備 機器表 (5) において、HEX-C-110は2台となっていますが、平面図は3台あります。平面図を正とし、3台と考える宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-28	M-005	上記質疑においてHEX-C-110を3台とする場合、風量は350m ³ /hのままと考える宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-29	M-007 M-011	空調換気設備 機器表 (7) において、FE-C-201はストレートシロッコファンとなっていますが、平面図は天井扇となっています。機器表を正とし、ストレートシロッコファンと考える宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-30	M-007 M-012	空調換気設備 機器表 (7) において、FE-C-301はストレートシロッコファンとなっていますが、平面図は天井扇となっています。機器表を正とし、ストレートシロッコファンと考える宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-31	M-007 M-019	空調換気設備 機器表 (7) において、FE-G-104はストレートシロッコファンとなっていますが、平面図は天井扇となっています。機器表を正とし、ストレートシロッコファンと考える宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-32	M-007 M-016	空調換気設備 機器表 (7) において、FE-G-110はストレートシロッコファンとなっていますが、平面図は天井扇となっています。機器表を正とし、ストレートシロッコファンと考える宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-33	M-013	教室棟 1階ダクト詳細図において、会議室にレンジフードファンのプロットがありますが、機器表に記載がありません。不要と考える宜しいでしょうか。	設置するものとします。
M-34	—	上記質疑においてレンジフードファンが必要な場合、RF-C-101（職員室系統レンジフードファン）と同じ仕様と考える宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-35	M-018	体育館棟 空調換気設備 ダクト4階平面図において、FE-G-403, 404, 405がそれぞれ2台ずつありますが、機器表に記載がありません。仕様をご指示願います。	消音形ストレートシロッコファン 2100CMH×100Paとします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-36	M-019	育館棟 空調換気設備 5階 ダクト詳細図において、FE-G-510が3台ありますが、機器表に記載がありません。仕様をご指示願います。	消音形ストレートシロッコファン 900CMH×100Paとします。
M-37	M-019	体育館棟 空調換気設備 5階 ダクト図において、武道場天井ダクトの保温仕様は、屋内露出仕上げと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-38	M-019	体育館棟 空調換気設備 5階 ダクト図において、武道場天井ダクトの吊り用鋼材、吊りピースは建築工事と考えて宜しいでしょうか。	設備工事で見込んで下さい。
M-39	MP-001 M-101～106	特記仕様書(1) 7)設備概要 消火設備において、消火器に○、消火系統図及び消火1～5階平面図において、消火器が図示されていますが、数量書には消火器が計上されていません。消火器は別途工事と考えて宜しいでしょうか。	消火器本体は機械設備工事とします。 数量はABC消火器75本(リサイクルシール含む)とします。
M-40	MP-001～003 A-1-02-2	特記仕様書(1)～(3)において、残土処分についての記載がありません。建築特記仕様書(2) 3. 土工事では「構内指示の場所に堆積」「場外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する」の両方に○がついていますが、「場外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する」と考えて宜しいでしょうか。	設備の残土については、場内敷きならしとします。
M-41	MP-003	特記仕様書(3) 排水設備 7. 遮音シートにおいて、「居室の天井配管に遮音シートを巻く」と記載されていますが、設計書には遮音工事の計上がありません。遮音工事は不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-42	MP-003	上記No. 41にて、遮音工事が必要な場合、遮音シートの仕様不明です。サンダムシートS10と考えて宜しいでしょうか。	遮音シートは無しとします。
M-43	MP-003	上記No. 41にて、遮音工事が必要な場合、遮音シートの必要箇所が平面図、詳細図に図示、記載されていません。遮音シートの必要箇所を御教示または遮音シートの必要箇所が分かる図面を頂けないでしょうか。	遮音シートは無しとします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-44	P-002,003,004 MP-003	給排水衛生設備 器具表(1)、(2)において、散水栓LF-13-13-CVの主要付属品に散水栓ボックスと記載されていますが、外構図では水栓柱の図示となっています。特記仕様書(3) 給水設備 8水栓柱に○がついていないことから散水栓の付属品は器具表どおり散水栓ボックスと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-45	MP-003 P-201	特記仕様書(3) し尿浄化槽設備 3.処理能力において、流入BOD濃度が200mg/Lと記載されていますが、浄化槽図面では180mg/Lと記載されています。浄化槽図面を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-46	MP-003	特記仕様書(3) 注記※3において、「空調・換気機器類の仕様は、国土交通省仕様とする」と記載されていますが、給排水衛生機器も国土交通省仕様と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 国土交通省仕様が無い機器はメーカー標準品とします。
M-47	P-001,007,016	給排水衛生設備 機器表において、WT-1 受水槽の付属品に緊急遮断弁80A×2(制御盤含む)と記載されていますが、メディアセンター 系統図(2)及びメディアセンター2階WC・受水槽室・調理室廻り詳細図には緊急遮断弁が図示されていません。機器表どおり緊急遮断弁を設置すると考えて宜しいでしょうか。	設置するものとします。
M-48	P-001 M-101	給排水衛生設備 機器表において、FP-001 屋内消火栓ポンプの能力が260l/min×60mと記載されていますが、消火機器表では180l/min×80mと記載されています。消火機器表を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-49	P-001 M-101	給排水衛生設備 機器表において、JP-001 補助加圧ポンプの能力が15l/min×60mと記載されていますが、消火機器表では20l/min×80mと記載されています。消火機器表を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-50	P-001	ガスバルクの調整器について、ペーパーライザー系統以外に、停電時を考慮して自然気化系統も必要でしょうか。	ペーパーライザーは発電機から電源供給しているため、自然気化系統は無しとします。
M-51	P-001	給排水衛生設備 機器表において、各棟に排水水中ポンプが記載されていますが、ピット階平面図がなく、各棟における排水水中ポンプの設置場所、ポンプアップ配管が不明です。排水水中ポンプの設置場所、ポンプアップ配管が図示された図面を頂けないでしょうか。	2回目の質疑回答時に提示します。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-52	P-001	上記にて、自然気化システムが必要な場合、2段1次調整器100kg/hと考え宜しいでしょうか。またペーパーライザー出口の2段2次調整器はメンテナンス及び故障時を想定して100kg/h×2台、内1台は漏洩検知付きと考えて宜しいでしょうか。	M-50で回答。
M-53	P-001,014	メディアセンター 1階平面図にGT-M-001 グリーストラップが図示されていますが、P-001 機器表には記載がなく、設計書にも計上されていません。グリーストラップの仕様、材質、容量、蓋の仕様等をご教示願います。	グリーストラップは不要とします。
M-54	P-002,003	給排水衛生設備 器具表(1)、(2)において、多機能トイレユニットの品番がPTWC-AC181R2SSWと記載されていますが、品番中の「2」は中水仕様のため多機能トイレユニットは中水仕様となっています。本物件には中水を使用していないため、品番中の「2」を上水仕様の「1」に読替え、多機能トイレユニットの品番をPTWC-AC181R1SSWと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-55	P-002,003,004 数量書No.560	給排水衛生設備 器具表(1)、(2)において、散水栓LF-13-13-CVが記載されていますが、数量の記載がありません。外構図及び数量書により散水栓は13個と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-56	P-002,012	給排水衛生設備 器具表(1)において、教室棟2～4階 多目的WC(2)～(4)に、多機能トイレユニット(オストメイト付)を設置となっていますが、教室棟2～4階WCまわり詳細図の多目的WCにはオストメイトの図示がありません。参考型番どおりのオストメイト付多機能トイレユニットと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-57	P-002,012	給排水衛生設備 器具表(1)において、教室棟1階洗濯室に洗濯パン、緊急止水栓付横水栓を1組設置と記載されていますが、教室棟 1階保健室まわり詳細図には図示がありません。流し台のとなりに洗濯パンを設置すると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-58	P-002,003	給排水衛生設備 器具表(1)、(2)において、参考型番が記載されていないシングルレバー混合水栓、単水栓が記載されています。参考型番を御教示願います。	混合水栓:SF-HB442SYXA 単水栓:LF-E340SY

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-59	P-003,016	給排水衛生設備 器具表(2)において、メディアセンター2階多目的WC(2)に掃除流し1組を設置と記載されていますが、2階WC・WC・受水槽室・調理室廻り詳細図には掃除流しの図示がありません。器具表どおり掃除流しを設置すると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-60	P-004	外構図において、既設給水引込管撤去は無しと考える宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-61	P-004	外構図において、会所桝64以降、敷地外水路へ放流と記載されていますが水路までの距離が不明です。水路の位置または水路までの距離を御教示願います。	歩道下水路まで5m分を見込んで下さい。
M-62	P-004,009	外構図において、ゴミステーションへの給水管が図示されていますが、教室棟1階平面図にもゴミステーションへの給水管が図示されています。外構図での給水管を正と考える宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-63	P-004,014,015	メディアセンター1階WC・美術室廻り詳細図において、音楽練習室からの排水管の接続桝が外構図及びメディアセンター1階平面図に図示されていません。外構図での会所桝38～39間に会所桝を設け接続すると考える宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-64	P-004,017	体育館棟1階平面図に緊急用排水槽への排水管が図示されていますが、外構図と配管ルートが異なっています。外構図を正と考える宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-65	P-004,014,016	外構図において、敷地内給水本管100Aより50Aで分岐、メディアセンターへと給水引込み配管が図示されていますが、以降の引込み管がメディアセンター1階・2階平面図及び2階WC・受水槽室・調理室まわり詳細図での受水槽まで図示されていません。給水引込み管の配管ルートが分かる図面を頂けないでしょうか。	2回目の質疑回答時に提示します。
M-66	P-004,016	外構図において、敷地内給水本管100Aより50Aで分岐、メディアセンターへと給水引込み配管が図示されていますが、2階WC・受水槽室・調理室まわり詳細図では給水引込み管の配管口径が40Aと記載されています。給水引き込み管口径は50Aと考える宜しいでしょうか。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-67	P-004,017	外構図及び体育館棟1階に緊急用排水槽が図示されていますが、槽内に排水ポンプは不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 (使用後はバキューム車での回収を想定)
M-68	—	体育館系統のLPG配管に災害時対応のガスコンセント類は不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-69	P-004,017~019	外構図において、ガスバルク置場から体育館棟へのLPG配管が図示されていますが、体育館棟1~5階平面図にLPG配管が図示されていません。体育館系統のLPG配管(2,5階GHP室外機へのLPG配管)ルートの分ける図面を頂けないでしょうか。	2回目の質疑回答時に提示します。
M-70	P-005	柵リストにおいて、小口径柵及び汚水柵SC-4の蓋仕様が化粧蓋T-25と記載されていますが、記載どおりT-25の仕様が必要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-71	P-005	柵リストにおいて、小口径柵の蓋仕様が塩ビ蓋+化粧蓋及び鋳鉄製+化粧蓋T-25と記載されていますが、内蓋+化粧蓋と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-72	P-005	柵リストにおいて、汚水柵SC-4の蓋仕様が鋳鉄蓋+化粧蓋MHA、鋳鉄蓋+化粧蓋T-25と記載されていますが、化粧蓋のみと読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-73	P-005,014	メディアセンター1階平面図において、室外機置場に会所柵が2箇所図示されていますが、柵リストには記載がありません。会所柵31,32と同様、小口径柵と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-74	P-007,014,015	メディアセンター 系統図(2)において、自動灌水系統の給水管が記載されていますが、メディアセンター1階平面図及び1階WC・美術室廻り詳細図には図示がありません。系統図の自動灌水給水管は不要と考えて宜しいでしょうか。	メディアセンター西側植栽帯用に25Aで給水を見込んで下さい。 (屋外バルブ止)
M-75	P-008,017~020	体育館棟5階WCまわり詳細図において、排水(立)管が女子WC(4)、多目的WC(4)、シャワー室系統と男子WC(4)、シャワー室系統の2系統で図示されていますが、体育館棟系統図及び体育館棟1~5階平面図では排水立管は1系統で図示されています。体育館棟5階WCまわり詳細図にて、女子WC(4)、多目的WC(4)、シャワー室系統立管に男子WC(4)、シャワー室系統を接続すると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-76	P-016	2階WC・受水槽室・調理室まわり詳細図のWT-001弁リストにおいて、定水位弁が1個と1記載されていますが、2個と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-77	P-017~019 設計書No.481	体育館棟1~5階平面図において、X1-X2, Y7-Y8のPSに浄化槽の臭突管及び緊急用排水槽の槽通気管が図示されていますが、設計書No. 481では硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) で計上されています。排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (DVLP) と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-78	P-017,020	体育館棟1階WC (外部) まわり詳細図の排水管100Aの行先が、体育館棟1階平面図に図示されていません。1階WC (外部) まわり詳細図からの排水管の行先の分かる図面を頂けないでしょうか	2回目の質疑回答時に提示します。
M-79	P-017,020	体育館棟1階WC (外部) まわり詳細図の水飲み場からの排水の行先が、体育館棟1階平面図に図示されていません。1階WC (外部) まわり詳細図及び水飲み場からの排水管の行先の分かる図面を頂けないでしょうか	2回目の質疑回答時に提示します。
M-80	M-101 A-9-01-3	建築図 内部部分詳細図(1) 15 屋内消火栓詳細図において、屋内消火栓扉の仕様が記載されていますが、消火機器表には扉についての記載がありません。屋内消火栓は消火機器表どおりの一般仕様と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 但し、表面は指定色塗装とします。
M-81	—	質疑No. 30において、消火器が別途工事の場合、ガスバルク及びLPGボンベ置場廻りの消火器も別途工事と考えて宜しいでしょうか。(ガスバルク廻りはABC20型×3、LPGボンベ置場はABC20型×1台ずつ必要です)	本工事で設置を見込んで下さい。 SUS製消火器BOX共
M-82	内訳明細書No488 M-001	設計書(内訳明細書)において、EHP-C-205-1は1台となっておりますが、機械設備図 機器表は3台です。機械設備図 機器表を正とし、3台と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-83	内訳明細書No488 M-002	設計書(内訳明細書)において、EHP-C-403の冷房能力は77.5kW・暖房能力は90.0kWとなっておりますが、機械設備図 機器表は45.0kW・50.0kWです。機械設備図 機器表を正とし、45.0kW・50.0kWと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-84	内訳明細書No489 M-002	設計書(内訳明細書)において、散水栓は1個となっておりますが、機械設備図 機器表に記載がありません。設計書(内訳明細書)を正とし、1個と考えて宜しいでしょうか。	散水栓は13個とします。(M-50回答)
M-85	内訳明細書No511 M-003	設計書(内訳明細書)においてEHP-M-10-1は天井カセット(4方向)と記載されておりますが、機械設備図 機器表は天井隠蔽ダクトとなっております。機械設備図 機器表を正とし、天井隠蔽ダクトと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-86	内訳明細書No516 M-006	設計書(内訳明細書)において、HEX-M-203の送風量は500m ³ となっておりますが、機械設備図 機器表は550m ³ です。機械設備図 機器表を正とし、550m ³ と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-87	内訳明細書No529 M-003	設計書(内訳明細書)において、EHP-G-101-1冷房能力は11.2kW・暖房能力は12.5kWとなっておりますが、機械設備図 機器表は5.6kW・6.3kWです。機械設備図 機器表を正とし、5.6kW・6.3kWと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-88	内訳明細書No529 M-003	設計書(内訳明細書)において、EHP-G-101-1は2台となっておりますが、機械設備図 機器表は4台です。機械設備図 機器表を正とし、4台と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-89	内訳明細書No529 M-003	設計書(内訳明細書)において、EHP-G-102は2台となっておりますが、機械設備図 機器表は1台です。機械設備図 機器表を正とし、1台と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-90	内訳明細書 No502,555 P-002	設計書(内訳明細書)教室棟において、シャワーユニット2組、実験用水栓20個、IHコンロ2個、武道場にシャワーユニット2組が計上されておりますが、器具表(1)備考にはシャワーユニット、実験用水栓、IHコンロは建築工事と記載されています。器具表を正とし、シャワーユニット、実験用水栓、IHコンロは建築工事と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-91	内訳明細書 No502,555 P-002	上記にて本工事の場合、実験用水栓、IHコンロの参考型番を御教示願います。	建築工事とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-92	M-001~007 P-001~003 M-101	機器類メーカー指定は無しと考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。 但し、メンテナンスを考慮し国内メーカを基本として下さい。
M-93	M-004,MP-002	機器表記載のGHP-G-201-F他、輻射 ^ハ 熱ユニットとありますがメーカー型番をご教示下さい。	参考メーカ:エコジャパン株式会社 参考品番:ecowinHYBRID 特型 LOWBOY HL-A9EJ
M-94	P-002~004	器具表に散水栓LF-13-13-CVの記載ありますが個数の記載ありません。平面図には記載ありますので平面図の個数を正と考えてよろしいでしょうか。また凡例より水栓柱と考えPVC製H:1200としてよろしいでしょうか。	散水栓は13個とします。(M-55回答) また、水栓柱ではなく、散水栓BOX(SB3VTN)とします。
M-95	P-001.P-014	P-014の1F平面図にGT-M001グリーストラップの記載がありますが、機器表にグリーストラップの記載がありません。平面を正とするのであれば、グリーストラップの仕様をご教示ください。	グリーストラップは不要とします。
M-96	P-006~008 M-020~022	系統図に記載されているピット内排水設備について各平面図に記載ありませんが適宜見込むものと考えてよろしいでしょうか。(排水PU,空調ドレン)	湧水ポンプアップ配管は2回目の質疑回答時に提示します。 空調ドレンは適宜見込んで下さい。
M-97	設計内訳書 NO.481	全体共用-排水設備(屋外)に地中配管50A~150Aの数量が記載されておりますが、別外構項目にて150Aの記載もありません。上記NO.481部分数量の図中対象箇所をご教示ください	2回目の質疑回答時に提示します。 主な区分はM-9の通りです。
M-98	M-017,A-2-01-3	X2-3,Y2-3通り間屋外階段踊り場のSA,RAダクトが通るは天井有とし隠蔽ダクト仕様としてよろしいでしょうか。	よろしいです。
M-99	P-006~017	給水ポンプ廻りの詳細図と各棟平面図(メイン管)の管サイズが合致しておりません。平面図記載の教室系統配管サイズ100A、体育館棟80Aを正とし、教室体育館へのメイン管100A又は125Aと考えてよろしいでしょうか。	教室体育館へのメイン管100Aとします。
M-100	P-001	上記質疑項目NO.8の給水管サイズとした場合、機器表加圧給水ポンプの吐出量250L/minは過少と考えられます。給水ポンプ吐出量をご教示ください。	加圧給水ポンプの吐出量は550L/minとします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-101	M-011~019 M023~028 M105~110 P-009~019 M-102~106	天井仕上げが木ルーバー部分の配管ダクトについては屋内露出仕様とし、建築工事にて天井内を一括EP塗装と考えてよろしいでしょうか。天井内塗装が各設備工事対応の場合はご指示ください。	天井仕上げが木ルーバー部分の配管ダクトについては屋内露出仕様でよろしいです。 また、天井内の塗装は不要とします。
M-102	MP-002	上記質疑項目NO.10を屋内露出仕様とした場合、配管ダクト保温仕上は特記記載の通りSUSラッキング仕上としてよろしいでしょうか。	アルミガラスクロスとします。
M-103	MP-003	天井仕上げ木ルーバー部分の天井内機器類（室内機・換気機器）の塩害対策は対応ができません。メーカー標準仕様としてよろしいでしょうか。	建物内の機器の耐塩については、メーカー標準とします。
M-104	MP-002 M-011~12	特記に記載の結露の恐れのある場所は教室棟各階学年スペース、体育館1階メモリアルホール、2階体育館、4階卓球場、5階武道場のみと考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
M-105	MP-003	特記注記部分のメンテナンス用の機械室、免振階、屋上部分点検デッキは設備工事では対応ができません。建築工事区分としてよろしいでしょうか。	設備配管類を乗り越える程度のタラップ(馬)程度で考えて下さい。 工事区分は設備工事とします。
M-106	MP-003	特記換気設備項目に記載のグリス除去装置が機器表、平面図に記載がありません。今回対象外としてよろしいでしょうか。	よろしいです。
M-107	MP-005,P-016	厨房用排水管の高温部SGP（黒）対象部分は調理室用排水枝管50Aのみとしてよろしいでしょうか。	対象範囲は枝管部分でよろしいです。 材質はHTVPとして下さい。
M-108	M-026,028	GHP室外機用ドレン排水は最寄りのルーフドレンに放流としてよろしいでしょうか。	よろしいです。
M-109	M-015	メディアセンター調理室のSUS製フードの高さが分かりません。ご教授ください。また、グリスフィルターは必要でしょうか？	高さは500Hとします。 また、グリスフィルターは不要とします。
M-110	M-015	換気のボックスは0Aのみ保温を施工するという認識でよろしいでしょうか？	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-111	M-18	武道場の吹出口SA 660CHM x44箇所BOXの大きさが分かりません。ご教か？	メインダクトから下に直接制気口を設置する形にしますので、ネックのダクトのみ見込んで下さい。
M-112	M-18	武道場の吹出口SA 660CHM x44箇所BOXの大きさが分かりません。ご教示ください。	メインダクトから下に直接制気口を設置する形にしますので、ネックのダクトのみ見込んで下さい。
M-113	—	空調ダクトはSAのみ保温を施工するという認識でよろしいでしょうか？	よろしいです。
M-114	M-18	チャンバーリスト 5階にあるGHP-G-501-1, 2, 3につながるチャンバーの種別はSAでよろしいですか？	よろしいです。
M-115	—	設計書で区分けされている武道場は体育館 5階のY1～Y6通りの部分とそれに関わる空調の室外機及び配管のみを指すと考えてよろしいでしょうか？	よろしいです。
M-116	M-24	EHP-C-402の系統ですが、冷媒サイズ記号がKとなっており、液管18.5φ、ガス管31.75φとなっていますが、設計書NO. 492に同径の配管が計上されていません。別途計上してよろしいでしょうか？	EHP-C-402の冷媒サイズGです。 EHP-C-401の冷媒サイズKですので追加計上して下さい。
M-117	—	空調配管の設計書に加湿給水用の弁類を計上する項目がありません。別途計上してよろしいでしょうか？	よろしいです。
M-118	P-016	受水槽の引き込み管径は40A、定水位弁等は50Aとなっておりますが、どちらを正とすればよろしいでしょうか？	40Aを正とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-119	—	設計書の全体共用と外構との区分けについて、特に給水設備と排水設備の区分をご教示下さい。	給水 全体共用:本館分岐～受水槽～加圧給水ポンプ～受水槽室内 外構:メイン引込管より外構の散水栓系統分岐以降を外構工事 排水 建物工事:建物～排水桝接続まで 外構:桝以降で浄化槽まで 全体共用:浄化槽～水路まで 浄化槽用の曝気ブローア配管 緊急用排水槽の通気管一式
M-120	P-005	柵番号7番の蓋仕様ですが、塩ビ蓋+化粧蓋となっていますが、铸铁蓋+化粧蓋MHAではないでしょうか？	铸铁蓋+化粧蓋MHAとします。
M-121	M-001～007 P-001～003 M-101	機器類メーカー指定は無しと考えてよろしいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。 但し、メンテナンスを考慮し国内メーカを基本として下さい。
M-122	M-004,MP-002	機器表記載のGHP-G-201-F他、輻射パネルユニットとありますがメーカー型番を御指示ください。	参考メーカ:エコジャパン株式会社 参考品番:ecowinHYBRID 特型 LOWBOY HL-A9EJ
M-123	P-002～004	器具表に散水栓LF-13-13-CVの記載ありますが個数の記載ありません。平面図には記載ありますので平面図の個数を正と考えてよろしいでしょうか。また凡例より水栓柱と考えPVC製H:1200としてよろしいでしょうか。御指示ください。	散水栓は13個とします。(M-55回答) また、水栓柱ではなく、散水栓BOX(SB3VTN)とします。
M-124	P-001.P-014	P-014の1F平面図にGT-M001グリーストラップの記載がありますが、機器表にグリーストラップの記載がありません。平面を正とするのであれば、グリーストラップの仕様を御指示ください。	グリーストラップは不要とします。
M-125	P-006～008 M-020～022	系統図に記載されているピット内排水設備について各平面図に記載ありませんが適宜見込むものと考えてよろしいでしょうか。(排水PU,空調ドレン)御指示ください。	湧水ポンプアップ配管は2回目の質疑回答時に提示します。 空調ドレンは適宜見込んで下さい。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-126	設計内訳書 NO.481	全体共用-排水設備（屋外）に地中配管50A～150Aの数量が記載されておりますが、別外構項目にて150Aの記載もあります。上記NO. 481部分数量の図中対象箇所を御指示ください。	2回目の質疑回答時に提示します。 主な区分はM-9の通りです。
M-127	M-017,A-2-01-3	X2-3, Y2-3通り間屋外階段踊り場のSA, RAダクトが通るは天井有とし隠蔽ダクト仕様としてよろしいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
M-128	P-006～017	給水ポンプ廻りの詳細図と各棟平面図（メイン管）の管サイズが合致しておりません。平面図記載の教室系統配管サイズ100A、体育館棟80Aを正とし、教室体育館へのメイン管100A又は125Aと考えてよろしいでしょうか。御指示ください。	教室体育館へのメイン管100Aとします。
M-129	P-001	上記質疑項目NO. 8の給水管サイズとした場合、機器表加圧給水ポンプの吐出量250L/minは過少と考えられます。給水ポンプ吐出量を御指示ください。	加圧給水ポンプの吐出量は550L/minとします。
M-130	M-011～019 M-023～028 M-105～110 P-009～019 M-102～106	天井仕上げが木ルーバー部分の配管ダクトについては屋内露出仕様とし、建築工事にて天井内を一括EP塗装と考えてよろしいでしょうか。天井内塗装が各設備工事対応の場合はご指示ください。	天井仕上げが木ルーバー部分の配管ダクトについては屋内露出仕様でよろしいです。 また、天井内の塗装は不要とします。
M-131	MP-002	上記質疑項目NO. 10を屋内露出仕様とした場合、配管ダクト保温仕上は特記記載の通りSUSラッキング仕上としてよろしいでしょうか。御指示ください。	アルミガラスクロスとします。
M-132	MP-003	天井仕上げ木ルーバー部分の天井内機器類（室内機・換気機器）の塩害対策は対応ができません。メーカー標準仕様としてよろしいでしょうか。御指示ください。	建物内の機器の耐塩については、メーカー標準とします。
M-133	MP-002 M-011～12	特記に記載の結露の恐れのある場所は教室棟各階学年スペース、体育館1階メモリアルホール、2階体育館、4階卓球場、5階武道場のみと考えてよろしいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
M-134	MP-003	特記注記部分のメンテナンス用の機械室、免振階、屋上部分点検デッキは設備工事では対応ができません。建築工事区分としてよろしいでしょうか。御指示ください。	設備配管類を乗り越える程度のタラップ(馬)程度で考えて下さい。 工事区分は設備工事とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-135	MP-003	特記換気設備項目に記載のグリス除去装置が機器表、平面図に記載がありません。今回対象外としてよろしいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
M-136	MP-005,P-016	厨房用排水管の高温部SGP（黒）対象部分は調理室用排水枝管50Aのみとしてよろしいでしょうか。御指示ください。	対象範囲は枝管部分でよろしいです。 材質はHTVPとして下さい。
M-137	M-026,028	GHP室外機用ドレン排水は最寄りのルーフドレンに放流としてよろしいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
M-138	衛生器具類の 工事区分について	A-1-12-2 付属従物表にて教室棟の保健室・洗濯室に洗面化粧台とありますが、P-002～003の衛生器具表には洗面化粧台の記載がありません。 他にも衛生器具表と付属従物表で器具の有無について差異があります。機械設備工事としては衛生器具表に従って器具を見積もると考えそれ以外の衛生器具は建築工事または別途工事と考えてよろしいでしょうか。 ご指示ください。	よろしいです。 その他質疑で回答している内容については、本工事で見込んで下さい。
M-139	グリーストラップについて	1) 機械設備図面MP-003の排水設備に グリス阻集器として工場製作品(SUS製)となっておりますが 給排水衛生設備機器表には記載がありません。 別途工事と考えてよろしいでしょうか。 2) メディアセンター棟の1階平面図(P-014)において 屋外にGTと表記があり、GT-M 001という番号が振られています が機器表に記載がありません。 別途工事と考えてよろしいでしょうか。 3) 上記1)及び2)について、機械設備本工事とされる場合 グリーストラップの詳細についてご指示ください。	グリーストラップは不要とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-140	屋外雨水排水の工事区分について	<p>各棟の系統図(P-006～008)に記載の排水系統は汚水・雑排水系統しかなく外構図(P-004)に記載の桧は汚水桧のみとなっております。</p> <p>意匠図(A-13-02-1及びA-13-03-2)では屋外側溝、丸型水路、集水桧が記載されております。</p> <p>以上より屋外雨水排水工事は建築工事と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>ご指示ください。</p>	<p>建物及び屋外の雨水設備は建築工事とする。</p>
M-141	消火器及び消火器ボックスの工事区分について	<p>1) 消火設備の凡例図(M-101)では角棟の各フロアに消火器ABC10型を設置するようあり、特記仕様書(MP-001)で消火器に○印があります。</p> <p>意匠設備の特記仕様書(A-1-02-8)にも消火器に○印があり図示によると記載があります。</p> <p>意匠設備の内部部分詳細図(1)(A-9-01-3)に消火器リストがありますが消火器本体は別途工事、屋内消火栓ボックス壁埋込型は設備工事、消火器ボックス壁埋込型及び置型は建築工事とあります。</p> <p>消火器及び消火器ボックスの工事区分についてご指示ください。</p> <p>2) また消火器リストと消火設備凡例図と台数が異なります。</p> <p>上記の工事区分について本工事とされる場合、台数についてご指示ください。</p>	<p>消火器本体は機械設備工事とします。</p> <p>数量はABC消火器75本(リサイクルシール含む)とします。</p> <p>また、質疑M-81のガスバルクまわりの消火器も本工事で見込んで下さい。</p>